# 認定NPO法人 市民セクターよこはま

■ 事業報告 2019 ■

2019年度(2019年4月~2020年3月)



# ~誰もが自分らしく暮らせるまち~

一人ひとりの市民が主人公として、 幸せと豊かさを実感できる市民社会の実現を目指して...



# 【2019年度事業報告書 目次】

◆ 2019 年度を振り返って······P4
◆ 運営に関する事項(法人総務)
(1) 会員[会員数・会員総会] P 7
(2) 理事会[開催日・議題] P 7
(3) 各団体・行政機関等の委員の受任 ····· P8
(4) 他団体の会員として ····· P9
◆ 事業に関する事項
◇ 市民活動支援事業
   ●横浜市市民活動支援センター運営事業 P 10
   ※別紙「事業報告 2019」参照
●にしく市民活動支援センター運営事業 P 10
※別紙「事業報告 2019」参照
● NPO 法人事業化パワーアッププロジェクトの検討 P 10
● 連絡会の事業事務局代行 ······ P 11

$\Diamond$	市民の目を活かした評価事業
	福祉サービス第三者評価・指定管理者第三者評価 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	障がい者保養施設宿泊モニタリング ·····・・ P 13
$\Diamond$	地域活動支援事業
	● まちかどケア(認知症ケア)関連事業
	<ul><li>・ 認知症サポーターキャラバン</li></ul>
	・ 認知症カフェ事業
	・ 認知症ケア実務者研修
	・ 認知症関連アプリ開発事業
•	<ul><li>よこはま地域づくり大学校 ·····・・・・・・ P 20</li></ul>
	・ 第8期 泉区まちづくりみらい塾
	・ 第8期 西区地域づくり大学校
	・ 第5期 神奈川区地域づくり大学校
	▶ 3コハマ市民まち普請事業 ·····・・・・・・ P 20
•	▼ 기기八八中氏なり自由事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	カロフャカカ 車業
	<b>クロスセクター事業</b> スタディツアー(企業・NPO 編) P 22
	スタディツアー(企業・NPO 編) P 22
•	
•	資料編
•	21 TONIA
	会員数の推移 ······ P 26
	収入額の推移と内訳·······P26
	4X/\tiRv/JI比1夕C Yij \
	市民セクターよこはま沿革 ·····・・ P 27
	2019 年度の役員・事務局スタッフ P 28

## 2019 年度を振り返って

理事長 中野しずよ

## 見えてきた、これからの方向性

#### O コロナ禍でわたしたち一人ひとりが、気づいていったこと

2019 年度末、「自分も人も守ることを本気で目指さないと、持続できないのが、わたしたちの社会である」ということに、多くの人が気づく機会ともなるコロナ禍が起きました。

リアルな日々の暮らしの中で、行政セクターの公平性重視の限界、企業セクターの営利追求の限界、そして現在のインフォーマルセクターの担い手がシニア世代中心となっていることへの限界も感じる中で、「自立した個人、支え合う地域、暮らしやすい社会」という当法人のビジョンが具体的意味をもって改めて浮かび上がってきました。

「ステイホーム」「巣ごもり」は大事なことですが、じっとしているだけでは、社会から取り残されていく人たちを支えることはできません。どのようなセクターに属しようとも、一人の市民として、自ら行動を起こしていけば少なくとも「支え合う」ことはできる、そのことに気づき、具体的に動き出した人たちがいます。

たとえば、こんな声を聞いています。

「SNSを使ったオンラインおしゃべり会が、日ごろ地域の子育てサロンに参加されているママさんたちが声かけあって、自主的に始まったのよ!」

「サービスBに日ごろ来ている高齢の方々と会えなくなって、週に一度はお電話をして近 況を聞いているけれども、顔を見たいので、スマホで ZOOM をやる方法教えてほしい。」 また、こんなニュースを聞きました。「横浜関内地区の飲食店30店舗がこのままでは閉店することがわかり、老舗の飲食店の声かけでクラウドファンディングが始まりました。」 「支えること」で「支えられる」とは、よく聞く言葉ですが、このように現実味をもって多くの人が同時に実感したことがかつてあっただろうか、と考えます。

## 〇 災害時の市域・県域ネットワーク団体の立ち上げ

この横浜・神奈川で大規模災害が発生した際、当法人としてどのような役割を果たすべきかと考える中で、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークの皆さんと話し合う機会が2年ほど前にあり民間でもコーディネート役が果たせる体制づくりを一緒に行ってきました。

そして 2020 年 1 月に「市民社会ネクストステージ研究会災害支援部会」が約 20 団体で立ち上がり、並行して、県域でのネットワークづくりの準備を行いました。

多様なエリア・分野の団体・企業等と連携したネットワーク組織の基礎を築くことができたことは、2019 年度の大きな成果となりました。

#### 〇 「横浜市市民活動支援センター」終了と、「横浜市市民協働推進センター」運営決定

11年にわたり運営を担ってきた「横浜市市民活動支援センター」が横浜市の事業として終了することとなり、後継となる事業「横浜市市民協働推進センター」のプロポーザルが2019年度に行われました。当法人は、関内イノベーションイニシアティブ(株)と共同事業体を組み、これに応募し、採択されました。

採択後、協働のパートナーとなる横浜市市民局と多くの議論を重ねました。行政からは、 これまで以上に協働のパートナーとして、違う主体でありながらも、ワンチームとなり、協 働の効果を最大限発揮しつつ、コーディネートを行っていくというスタンスを求められました。一方、当法人は、独立した「民」の組織として、幅広い意味での公益を担っていく立場でもあることから、対等に議論しながら、事業を進めていきたいことを伝えました。

時間をかけた話し合いでお互いの立場を理解・合意し、市民協働推進センターの協働運営 に取り組むことになりました。

さらには、「市民協働推進センター」の具体的な事業計画を立てる話し合いを進める中で、 「民」としての立場で、市民活動支援や団体相互のエンパワメントを図る機能が必要と考えるに至りました。

#### 〇 最後に

- ・ コロナ禍の中で出てきた新しいつながり方、主体的な支え合いの動きを知る
- ・ 多くの法人と連携して、市域・県域のネットワーク組織をつくる
- ・ 共同事業体を結成してプロポーザルへ挑戦、立ち位置について行政と議論を重ねる 上記を経験し、さまざまな要素が良い意味で絡み合って、当法人の進むべき方向性が 見えてきた2019年度となりました。

2020年度の事業展開にしっかりとつなげていきます。

## 運営に関する事項(法人総務)

## (1) 会員

#### ● 会員数

2019年3月31日時点:114

【正会員 103】団体 36/個人 67、【準会員 7】団体 2/個人 5、【賛助会員 4】団体 2/個人 2 ↓

2020年3月31日時点:

【正会員 107】団体 37/個人 70、【準会員 6】団体 1/個人 5、【賛助会員 5】団体 3/個人 2

#### ● 社員総会(会員総会)

日 時:2019年5月19日(日)

会 場:横浜情報文化センターホール

参加者:正会員:66名(うち書面表決34名、委任状8名 ※正会員数108名)

第17回 通常総会

※各担当者による事業説明会を実施。

## (2) 理事会

#### ● 開催日

2019年: 4月26日、5月28日、6月25日、7月30日、8月27日、9月24日、

10月29日、11月26日、12月24日

2020年:1月28日、2月25日

#### ●議 題

総会企画・議案、予算・決算、事業報告・計画、横浜市市民活動支援センター事業 にしく市民活動支援センター事業、次年度組織体制、役員人事、職員の採用 等

## (3) 各団体・行政機関等の委員の受任

行政や社会へ提言、市民参画の拡大の為、さまざまな団体等の委員を引き受けています。

#### 〔横浜市・健康福祉局〕

- · 横浜市地域協議会 委員(中野)
- · 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 委員(中野)
- ・ 横浜市福祉有償移動サービス運営協議会 委員 (山野上)
- ・ 横浜市福祉サービス第三者評価推進委員会 委員(吉原)

#### 〔横浜市・こども青少年局〕

・ 横浜市親と子のつどいの広場事業選定委員会 委員(中野)

#### 〔横浜市・環境創造局〕

- · 横浜市公園公民連携推進委員会 委員(松本)
- · 横浜市環境活動賞審査委員会委員 委員 (鈴木)

#### 〔横浜市社会福祉協議会〕

- ・ 横浜市社会福祉協議会よこはまふれあい助成金運営委員会 委員(吉原)
- 横浜市社会福祉協議会「福祉よこはま」編集委員(山田)
- ・ 横浜市社会福祉協議会福祉ボランティア・市民活動部会 委員 (藤崎)

#### 【県域・市域】

- ・ 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事(中野)
- NPO 法人横浜移動サービス協議会 評議員(中野)
- 神奈川県かながわ協働推進協議会委員(吉原)
- ・ 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ 市民活動支援運営委員会委員(加世田)

#### 【区域】

- · 瀬谷区地域福祉保健計画懇談会委員(中野)
- · 瀬谷区社会福祉協議会 企画委員(中野)
- ・ 港南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 委員(中野)
- · 港南区福祉活動拠点指定管理者選定委員会 委員(中野)
- ・ 青葉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 委員(中野)
- · 青葉区福祉活動拠点指定管理者選定委員会 委員(中野)

- 横浜市瀬谷区 地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 委員(松本・鈴木)
- · 横浜市瀬谷区 福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 委員(松本・鈴木)
- ・ 栄区地域福祉保健計画策定・推進委員(竹谷)
- · 神奈川県教育委員会学校運営協議会委員(栄高校)(竹谷)

#### [講師等の受任]

#### 【市域】

- ・ 区支援センター新任者研修 講師・ファシリテーター(吉原・関尾)
- ・ 区支援センターネットワーク会議連続 4 回 講師・ファシリテーター (吉原・関尾)
- ・ 認知症カフェ設立講座 講師・ファシリテーター(吉原)

#### 【区域】

- · 青葉区 NPO 入門講座 講師 (関尾)
- · 西区 NPO 入門講座 講師 (加世田)
- ・ 西区地域づくり大学校連続講座 講師・ファシリテーター (吉原)
- ・ 神奈川区地域づくり大学校連続講座 講師・ファシリテーター (吉原)
- ・ 泉区まちづくりみらい塾連続講座 講師・ファシリテーター (吉原)

#### 【その他】

· NPO 法人 JECK NPO 法人化記念講演 講師(関尾)

## (4) 他団体の会員として

下記の団体に会員として参画しました。

- 認定 NPO 法人 日本 NPO センター
- · NPO 法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- ・ 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク
- · 認定 NPO 法人 市民福祉団体全国協議会
- · 一般社団法人 全国食支援活動協力会
- ・ 公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会
- · 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
- · NPO 法人税理士による公益活動サポートセンター
- · 神奈川県居住支援協議会

## 事業に関する事項

## 【市民活動支援事業】

## ■ 横浜市市民活動支援センター運営事業

(横浜市市民局市民活動支援課と協働契約を締結し実施しました)

別紙「2019(平成31)年度横浜市市民活動支援センター事業報告書」をご覧ください。

## **■ にしく市民活動支援センター(にしとも広場)運営事業**

(横浜市西区役所と協働契約を締結し実施しました)

別紙「2019(平成31)年度にしく市民活動支援センター事業報告書」をご覧ください。

## ■ NPO 法人事業化パワーアッププロジェクトの検討

成果と課題

## 成果

- 計画していた「トップマネジメントセミナー」などの企画は、市民協働推進センター プロポーザルに向けた申請準備のため、実施できませんでした。
  - ※ なお、2019年4月から9月に、「事業構想大学院大学」に参加し、NPOと企業 との協働・協業プロジェクトを生み出す仕組みづくりの課題に取り組みました。

#### 課題

 ○ これまで横浜市市民活動支援センターで取り組んできた市民活動支援の機能のうち、 主に相談機能が市民協働推進センターに引き継がれることとなりました。各種講座に ついては、民間で実施していく必要があることから、自主事業化の機会として捉え、 法人として NPO 法人の運営に資する各種講座を実施していくことが課題です。 ○ 新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、2019 年度末は集合形式での講座の実施が難しい状況となり、2020 年度もこのような状況が続くと想定されます。このような状況下でオンライン会議ツールの導入は有効な手段であることはもちろん、平常時でも遠隔での参加を可能にすることから、積極的に導入・活用していきます。

## ■連絡会の事業事務局代行

特定非営利活動法人横浜市小規模多機能居宅介護事業者連絡会、特定非営利活動法人横浜市地域密着型通所介護事業所連絡会は、横浜市内の事業者の連絡連携ならびにその職員の資質の向上に資する事業を行っています。しかし、法人のメンバーが皆、各々の事業所に属しているため、NPO法人の事務局としての業務は、活動時間の捻出や作業場所の確保などの点から、スムーズな運営がしにくい状況にあります。今年度より、2つの連絡会の事業運営事務局の一部を受託しました。

#### 成果と課題

#### 成果

総会資料や経理関係の流れの確認・書類の作成、ホームページの更新、横浜市主催セミナーの申込み受付・連絡など、連絡会の役員と連携して運営することができました。

#### 課題

法人としては、連絡会の正会員の状況確認の必要性や、連絡会ホームページ内の会員ページの充実が待たれるなど、解決すべき課題は多くありますので、理事長他メンバーと一層の連携をとり、課題解決に向け協力をしていきます。

#### 事業の概要と実施したこと

決算書類・事業報告書作成

経理関係書類を確認し、総会資料の中の特に決算書類を作成しました。

- 連絡会 ※会場予約、参加申込受付、参加者名簿作成などを実施しました。
- 横浜市委託事業のセミナー ※ セミナー案内チラシのFAX送信(地域密着型)、参加申込受付、参加者名簿作成、セミナー使用資料の印刷等準備などを実施しました。
- ホームページ更新作業(小規模多機能)会員施設の情報、連絡会やセミナーの開催日程・内容等について、ホームページを都更更新。更新に当たっては、役員と内容確認しながら進めました。
  - ※新型コロナウイルス感染防止のため 3 月実施予定の連絡会・セミナーが中止となり、 当初予定の半分の実施にとどまりました。

## 【市民の目を活かした評価事業】

## ■ 第三者評価事業

- 福祉サービス第三者評価事業・指定管理者第三者評価事業
- 障がい者保養施設宿泊モニタリング

#### 成果と課題

#### 成果(経緯)

福祉サービスでは保育園を14件、障害施設を1件実施しました。今年度は神奈川県下統一の「標準となる評価項目」を使用する移行年度で、当法人では年度後半から本項目を取り入れました。当法人の評価手法を策定し、調査員とも模索しながらの実施でしたが、丁寧な質の高い調査・報告により、当法人の評価実施に対する嬉しいコメントを多くいただきました。

#### 課題

- 高齢・障害分野における受審料の半額補助(横浜市)をうけ、複数施設の実施を予定していましたが、まだ施設側の受審意向に繋がらない感があります。引続き、施設をもつ法人に働きかけるなど、積極的に評価の効果や意味を伝えていく必要があります。
- 評価項目が統一され、当法人の評価手法を策定し実施しましたが、abc 評価の基準・書き方などを調査員全員が同じレベルで理解し評価するには至っていません。勉強会だけでなく、評価手法や基準の考え方をマニュアル化し、当法人の評価を確立する必要があります。

#### 事業の概要と実施したこと

#### <福祉サービス第三者評価事業>

福祉サービスの質の向上のために、前半4園と公立園は横浜市の評価基準を使用し、後半10件は「標準となる評価項目」にて評価を行いました。評価の結果は公表するとともに、事業者(施設)との対話の中から、次のステップへの「気づき」が生まれることを目指しました。

#### 【評価完了案件(順不同)】

分野		運営主体
	若葉台保育園	
	岸根保育園	· 社会福祉法人山百合会
	やまゆり中山保育園	1 社会領征法人山口口云
	ペガサスベビー保育園	
	第二白百合乳児保育園	社会福祉法人白百合会
	ひびき井土ヶ谷保育園	社会福祉法人そだちの杜
保育	ひびき金港町保育園	社会価値法人でたつの位
体目	勝田保育園	社会福祉法人和泉福祉会
	鳩の森愛の詩あすなろ保育園	社会福祉法人はとの会
	矢向保育園	社会福祉法人神奈川労働福祉協会
	横浜市瀬谷第二保育園	横浜市
	土と愛子供の家保育所 本園	社会福祉法人土と愛
	土と愛子供の家保育所 第2	1 社会価値広入工と変
	ベネッセ青葉台保育園	(株)ベネッセスタイルケア
障害	社会就労センターのぞみ	社会福祉法人白根学園

#### < 障がい者保養施設宿泊モニタリング>

障がいのある方にとって、生活の質(QOL)の向上を図る上で、「障がいのある方とその家族が安心してご利用いただけるくつろぎの空間」(パンフレット・HPより)である当該施設の存在は、地域社会の貴重な社会資源です。当該施設には、宿泊施設としての機能のほか、研修やレクリエーションなどを行う設備もあり、障がい者及び障がい教育・障がい福祉

等の関係機関への周知が行き届き活用への意識が広がることは、施設の社会資源としての価値がより向上すると思われます。

昨年に引き続き、横浜移動サービス協議会にモニタリング調査と職員研修を依頼し、障がいのある方に実施頂きました。ただし、新型コロナウイルス感染防止のため施設が3月は施設が休館となり、調査予定の半分が実施できず残念でしたが、毎年の実施と報告は、施設にとって貴重な声となっています。

## 【地域活動支援事業】

## ■まちかどケア(認知症ケア)関連事業

「認知症になっても住み慣れたまちで本人も家族も安心して暮らせるようなまちづくり」をめざして、ご本人と家族を温かく見守ることができるよう、認知症を正しく理解する場をつくるとともに、地域における居場所としての認知症カフェの取組みの推進に取り組みました。

#### 成果と課題

#### 【1】認知症サポーターキャラバン(横浜市健康福祉局との協働事業)

#### 成果

- 認知症キャラバン・メイト養成研修を4回実施し、173名の新しい認知症キャラバン・メイトを養成しました。
- 本年度、市内で実施された認知症サポーター養成講座は、787回 合計 32,474 名の 認知症サポーターが養成されました。
- 昨年度に引き続き、「認知症キャラバン・メイト交流会」を実施しました。
- 「認知症サポーター養成講座見学会」として、3回の見学会を行いました。(うち2回 は新型コロナウイルス拡大予防のため、中止)

#### 課題

○ より一層、認知症の方への理解がすすむために、実際に活動できる認知症キャラバン・メイトを増やす必要があります。認知症キャラバン・メイト養成研修のプログラムの工夫や、研修を受けた直後に、地域の支援者や先輩メイトとつながるきっかけづくりも必要です。今後は、認知症サポーターの活躍の場についても検討します。

#### 【2】認知症カフェ事業

#### 成果

認知症カフェの設立を考えている方を対象とした「認知症カフェ設立講座」を横浜市健康 福祉局と協働で実施しました。

## 課題

「歩いて行ける範囲に認知症カフェがある」ためには、その取り組みが広がるとともに、場が継続していくことが大切です。ゆるやかにカフェ同士が繋がり合い、認知症の当事者本人が輝ける場について考え合う場づくりに引き続き取り組むことが課題です。

## 【3】認知症ケア実務者研修

#### 成果

認知症介護の基礎を学ぶ本研修は、入職後日の浅い職員や、認知症カフェに関わる方、認知症当事者、ご家族など、パーソンセンタードケアを軸とした認知症介護について学びたい方を対象に実施しました。

認知症について中核症状と周辺症状の違いについて知り、ご本人が自分らしく暮らすことを中心に置き、安全面への配慮や不安要素の少ない環境を作る大切さを学ぶ機会となりました。当事者自身が認知症について発信する場面や、パーソンセンタードケアを大切にした介

護をすることが、当事者だけでなく介護者自身も変化していく実例を映像を通して学び、日頃の介護を見つめ直す研修となりました。参加者アンケートでは、「大変よかった」「よかった」との評価が95%あり、満足度も高く、施設内研修にも是非活用したいという声もありました。

#### 課題

介護力向上の為にも継続して開催して欲しいなど受講者からの満足度が高い反面、介護人材の確保が難しい中、良い研修であっても参加すること自体が難しいとの声もあり、研修の方向性や形態について考えていく必要があります。

#### 事業の概要と実施したこと

## 【1】認知症サポーターキャラバン

横浜市との協働事業として、認知症サポーターキャラバンの横浜市の事務局を担っています。日常的には、認知症キャラバン・メイトが認知症サポーター養成講座を実施するにあたってのサポートと計画書・報告書のとりまとめを行い、認知症キャラバン・メイト養成研修を4回実施しました。また、各区から認知症キャラバン・メイトと区役所担当職員、地域ケアプラザ職員が一緒に参加する「認知症キャラバン・メイト交流会」を実施しました。

#### 【2】認知症カフェ事業

「認知症カフェ設立講座」

【日時】2020年2月3日 9:30~16:30

メイン講義「認知症カフェとは」矢吹知之氏

(東北福祉大学 総合福祉学部 准教授、認知症介護研究・研修仙台センター 研修部長) 【受講者】 55 名(NPO 法人・市民活動団体、地域ケアプラザ職員、福祉施設、地域店舗等)

## プログラム

9:30~9:50	20分	認知症カフェ調査について 横浜市高齢在宅支援課
9:50~10:05	15分	グループ内自己紹介
10:05~10:45	40分	導入 市民セクターよこはま 吉原明香
10:45~12:00	75分	講義1 「認知症カフェとは」 矢吹知之氏
12:00~13:00	60分	(休憩)
13:00~13:15	15分	グループワーク
13:15~14:15	60分	講義2 「開設&運営のコツについて」 矢吹知之氏
14:15~14:30	15分	休憩
14:30~15:45	75分	横浜市内の認知症カフェ 事例紹介
15:45~16:15	30分	グループワーク「自分の開きたいカフェについて」
16:15~16:30	15分	情報提供、相談先の紹介などについて



## 【3】認知症ケア実務者研修

「認知症ケアの基本 ~日々のもやもや、これで解決!~」(全3回講座) 【日時】2019年10月18日、11月14日、12月12日 10:00~17:00

第1回 基調講演「認知症と向き合うということ」

杉山 孝博 (川崎幸クリニック院長・精神科医)

○認知症ケアの歴史を知り、これからの認知症ケアを考える

#### 第2回 ○本人本位の視点を磨く

○認知症の方本人に寄り添うケア実践編① ~ロールプレイ、チャレンジプログラムを通じて~

#### 第3回 ○認知症の方本人に寄り添うケア実践編②

~ひもときシートの活用方法、事例検討~

○認知症ケアの基本+a ~認知症ケアに必要な知識・技能~

#### メイン講師

井上 義臣 氏 高齢者グループホーム横浜ゆうゆう

スーパーバイザー

富田 克利 氏 ゆい藤ヶ丘 居宅介護支援

長本 節子 氏 高齢者グループホーム横浜はつらつ

村井 キヌエ氏 横浜市総合保健医療センター

村上 美佳 氏 有料老人ホームタ佳ゆめみがさき



#### 【4】認知症関連アプリ開発事業((株)NTTドコモと協働・共創契約を締結)

認知症になっても自分らしく暮らせるまちを目指し、2018 年度より協働・共創契約を締結し、(株)NTT ドコモ サービスイノベーション部(研究開発部門)と 2019 年度もアプリ開発に取り組みました。

## 成果

アプリの存在で認知症のご本人やご家族が暮らしやすくなり、まちで暮らす一人ひとり

が、お互いにさりげなく支え合えることを目標として、2019年度は主に地域ケアプラザ の方々およびキャラバン・メイトの方々に実証実験をお願いして、実用化に向けて、取り組 むことができました。

## 課題

I Tリテラシーの問題でなかなか実際の利用に至らない問題がありました。マンツーマンで利用方法をご説明することで、利用が進み、キャラバン・メイトの方々がより活動しやすい環境をつくることに役立つことがわかりましたので、本格運用の際は、その説明やアプリ活用習熟の仕組みをどうつくるかが課題となりました。

## ■ よこはま地域づくり大学校

#### (1) 第8期 泉区まちづくりみらい塾

(泉区まちづくりみらい塾および横浜市泉区役所との協働事業) 別紙「2019(平成31)年度泉区まちづくりみらい塾 報告書」をご覧ください。

- (2)第8期 西区地域づくり大学校(横浜市西区役所との協働事業) 別紙「2019(平成31)年度 西区地域づくり大学校 報告書」をご覧ください。
- (3) 第5期 神奈川区地域づくり大学校(横浜市神奈川区役所等との協働事業) 別紙「2019(平成31)年度神奈川区地域づくり大学校 報告書」をご覧ください。

## ■ ヨコハマ市民まち普請事業

(横浜市都市整備局地域まちづくり課、横浜市住宅供給公社と協働契約を締結し実施します。)

三者協働によるヨコハマ市民まち普請事業の事務局運営を行いました。

#### 成果と課題

#### 成果(経緯)

横浜市住宅供公社、横浜市都市整備局地域まちづくり課との三者による協働運営を行って

います。とくに、事業の周知では、幅広く広報することに努め、多くの応募につながりました。

## 課題

今後も、市民主体のまちづくりにつながる制度として、多くの市民がチャレンジできるよう、事業の周知方法や、コンテストの実施方法等について工夫していく必要があります。

#### 事業の概要と実施したこと

「私たちのまちを、私たちがつくる!」そんな思いをカタチにするための地域協働のきっかけづくりとなる事業です。身近なまちのハード整備に関する提案を募集し、2回の公開コンテストで選考された提案に対して最高 500 万円の整備助成金が交付されます。今年度、当法人では、主に、整備箇所現地視察、コンテストの運営補助(記録、設営・備品)および広報を行いました。

◆ 公開 1 次コンテスト

【日時】2019年7月13日(土)

【会場】横浜みなとみらい 21 プレゼンテーションルーム

12 グループからの提案のうち、6 グループが 2 次コンテスト対象提案として選考されました。

◆ 平成30年度 整備箇所視察ツアー

【日時】2019年7月27日(土)

まち普請事業30年度整備箇所の視察ツアーを企画・運営しました。

提案名	グループ名
【青葉区】	荏子田太陽公園愛護会グルー
#BuildingTogether 太陽ローズハウス	プ
【青葉区】	美しが丘アセス委員会遊歩道
百段階段を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備	ワーキンググループ
【泉区】	宮ノマエストロ
中田のえんがわ「宮ノ前テラス」多世代交流スペース	古ノ ヤエヘ トロ

### ◆ 公開2次コンテスト

【日時】2020年1月25日(土) 【会場】横浜市市民活動支援センター4階 公開コンテストの結果、以下の3提案が整備助成対象提案として決定しました。

提案名	グループ名
【港南区】コミュニティカフェの新設	icocca (いこっか 憩家)
【泉区】みんなの絵本のおうち	おはなしの風
【港北区】力べを取り払ってみんなが自由になる「ひろば」	菊名・錦が丘にみんなの"ひろ
づくり	ば"をつくる会

※コンテスト業務のほか、まち普請事業部会や関連イベント(活動懇談会/H30整備成果報告会/まちづくりびと全員集合)に参加しました。

#### ◆まち普請事業に関する広報の取組み

制度やコンテストをはじめとする関連事業の広報として、以下の取組みを行いました。

- 横浜市市民活動支援センターにおける事業を通じた広報
  - ・ メールマガジン「アニマートピコ」: 各イベント・応募案内
  - ・ つながりのまちづくりフォーラム:フォーラムでのイベントの周知、情報コーナーの設置

#### ○ 法人事業を通じた広報

- ・ 西区地域づくり大学校:まち普請事業の制度紹介
- 神奈川区地域づくり大学校:まち普請事業の制度紹介
- ・ 泉区まちづくりみらい塾:まち普請事業の制度紹介

## ■ スタディツアー(企業・NPO編)

(神奈川県 NPO 協働推進課と協働契約を締結し実施しました)

神奈川県が実施しているパートナーシップ支援事業の一環として位置づけられるスタディップアーは、当法人との協働事業として5年目を迎えます。

今回は、関心のあるテーマを選んだ参加者同士がチームとなって、各テーマの課題解決に向けて取り組む団体を訪問しました。団体へのヒアリングやチームでのレポート作成を通じてそれぞれのテーマの現状を知り、取り組むべき社会や地域の課題について考えることを目的としました。

#### 成果と課題

## 成果(経緯)

今回のツアーでは、少人数かつダイバーシティなチームで、自主的に訪問し、結果をレポートにまとめ、発表するところまで取り組みました。一つのテーマについて、多様な視点で考え合うことで、今までにない気づきが得られたことなどがアンケートから伺えました。また、具体的に連携できそうなアイディアが生まれ、「改めて集まることになりました!」という声が聞かれるなど、長い時間、行動を共にする中で、参加者同士の新たな関係性を築くこともできました。

## 課題

地域づくり大学校で取り入れてきた、少人数制による現場への個別訪問の手法が、スタディップーでも有効であることが分かったことから、プログラムの質的向上、および運営の効率化を図ることが今後の課題です。

## 事業の概要と実施したこと

#### 【日時】

2020年2月18日(火) 10:00~19:00

#### 【参加者】

24名(NPO13名、企業11名)

#### 【テーマ】

NPOをダイバーシティチームで訪問

地域・社会課題の本質を探るスタディツアー



▲神奈川県ホームページで、詳しいツアー報告 をご覧いただけます。

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/7929/jisshikekka.pdf

#### 【訪問場所・団体】

メイン会場:京セラみなとみらいリサーチセンター

テーマ1:「災害支援」

訪問先:かながわ県民活動サポートセンター

訪問団体:認定NPO法人かながわ311ネットワーク

テーマ2:「多文化共生」

訪問先:かながわ外国人すまいサポートセンター(横浜YMCA内会議室)

訪問団体:NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター

テーマ3: 「子育て・保育」

訪問先:子育て子育ち支援センターさんぽ・みずきが丘住宅団地集会所

訪問団体:NPO法人のはらネットワーク

テーマ4:「環境」

訪問先: 黄金スタジオDおよび近隣の大岡川周辺

訪問団体:NPO法人海の森・山の森事務局

テーマ5:「若年性認知症」

訪問先:横浜市市民活動支援センター

訪問団体:SJNK・本人会議





## 【参加者の声(アンケートより)】

- ・ 異業種の人たちで 1 つの団体を訪問したことで、様々な角度でものを見ることができました。企業 の常識?NPOの常識?個人のちがい?気づきが多かったです。
- ・ 同じテーマについて、いろいろな意見、考えを聞けるので、自分にはない発想があり、新たな発見がありました。
- ・ この場がなければ、ありえなかった異分野の人との出会いや対話が、自分自身を覚醒させてもらったような感覚があります。
- ・ NPOの課題としては、共通としてマネタイズにあると感じた。活動は素晴らしいので、SNSやコンテンツをうまく発信していくことがポイントではないか。
- ・ 訪問してお話を聞くことができて生々しい話をきけてとても学びになった。他のグループの学びも共有 できた。

(参加者の満足度 平均 92.5 点)

## 資料編

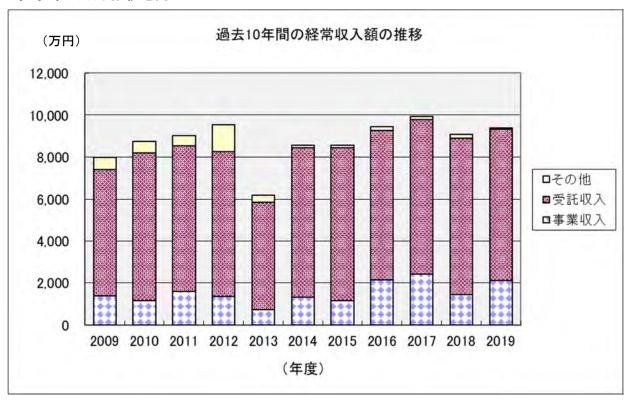
#### (1) 会員数の推移

	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08
合計	136	141	125	176	145	184	195	216	204	192

	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
合計	186	196	193	150	147	146	138	134	137	114	118

- ※ 各年度末(3月末)の数値です。
- ※ 正会員・準会員・賛助会員を合計した数値です。
- ※ 数年以上会費納入のない会員について、2012 年度、2018 年度に整理作業を実施しました。

#### (2)収入額の推移と内訳



- ※ 受託収入=行政からの委託事業(行政との協働事業)
- ※ その他=会費収入・助成金収入・寄付金収入など
- ※ 借入金収入や前期繰越金は含めていない
- ※ 2013年度、第2事業部が独立

# (3) 市民セクターよこはま 沿革

1998.7	「市民セクター構築のための研究会」発足
1999.9	市民セクターよこはま 設立 (9/28)
1999.12	横浜市への要望書提出「新しい公共の創造へ向けて」
2000.1	
2000.9	横浜移動サービス協議会発足(移動プロジェクトより独立)
2001.7	
2002.2	横浜ワールドポーターズに「NPO スクエア」開設 同所に事務所移転
2002.7	NPO マネジメント支援プロジェクト発足(~2005.9)
2002.10	横浜市市民活動共同オフィスの管理運営を受託(~2009.3)
2003.4	NPO 法人「市民セクターよこはま」設立・登記 (認証 4/1)
2003.5	設立総会、NPO 法人設立記念パーティ
2004.5	理事長松本和子退任、服部一弘就任
2004.7	横浜会議で研究テーマを提案、採択される
2004.8	認知症ケアマネジメント推進事業開始
2004.11	福祉サービス第三者評価事業開始
2005.6	地域福祉コーディネーター養成研修開始
2005.8	NPO 等に対する相談・アドバイス事業開始(~2008.3)
2006.5	「介護サービス情報の公表」に係わる調査事業開始(〜2009.3)
2006.12	理事長服部一弘退任、松本和子就任
2007.1	横浜市指定管理者第三者評価事業開始
2007.10	コミュニティビジネス支援事業開始
2007.11	横浜市中区住吉町(関内)に事務所移転
2008.5	理事長松本和子退任、中野しずよ就任
2008.7	区役所窓口サービス向上支援事業開始(~2010.3)
2009.4	よこはま地域づくり大学校事業開始
2009.5	定額給付金の代理受領および横浜市への寄附手続き開始(〜2009.11)
2009.7	横浜市市民活動支援センター運営開始
2012.7	認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)として国税庁より認定
2013.4	横浜市中区太田町(馬車道)に事務所移転
2014.4	横浜市市民活動支援センター運営(2期目)
2014.4	にしく市民活動支援センター運営開始
2017.4	横浜市認定特定非営利活動法人(横浜市認定 NPO 法人)認定

2019.4	にしく市民活動支援センター運営(2期目)
2019.5	通常総会、市民セクターよこはま 20 周年記念フォーラム
2020.3	横浜市市民活動支援センター運営を終了
2020.4	横浜市市民協働推進センター運営 開始

## (4) 2019 年度の役員・事務局スタッフ

## ● 役員 (理事・監事)

理事長	中野 しずよ
副理事長	竹谷 康生、松本 道雄
理事	加世田 恵美子、河原 勇輝、小島敏明、齋藤 保、鈴木智香子
	山野上 啓子、吉原 明香
監事	西尾 敦史、大塚 宏

#### ● 事務局スタッフ

	吉原 明香 (事務局長)
	横浜市市民活動支援センター配属
	常勤: 関尾 潤、薄井 智洋、小川 彩子、染谷 日向子
	非常勤:内田 智美、大河原 正人、撞井 靜雄、原田 姫子、村田 育男
	退職 常勤:嶋田 拓郎(~2019年12月)
常勤・非常勤 	非常勤:★田中 田人、神田 廣志、落合 貴美恵、奥井 利幸、五十嵐 優、
アルバイト	鈴木 茂 (6名 ~2020年3月)
	アルバイト: 小林 良行(21019年11月~2020年3月)
	にしく市民活動支援センター配属
	加世田 恵美子、山田 素子、藤﨑 さゆり、今村 利恵子、北川 洋
	法人事務所配属
	石川 亜紀子
ボランティア	勝田 泰輔、山戸 一弥、平尾 隆郎
スタッフ	防山 次州、山广   沙、千尾   连印

※横浜市市民活動支援センター運営事業終了により、長年にわたり支援センターを支えた ★非常勤職員6名が退職いたしました。深く感謝申し上げます。

## 2019年度 横浜市市民活動支援センター 事業報告

#### 全体総括

2018年度は具体的なしくみとして、中間支援組織連携による相談・コーディネート事業を本格的に開始し、「課題解決につながるコーディネートのしくみづくり」の緒に就くことができました。

そこで、2019 年度は市民活動団体のみならず、さらに豊かな市民の力をもって、セクターを超えたさまざまな主体がつながる「拡大版中間支援連携」を推し進め、問題解決につながるための、コーディネート・プロジェクト立ち上げ支援・伴走支援に力を入れていきました。

このため、職員のセンター勤務のシフト体制を見直し、市域・区域の各現場にての相談 対応や伴走支援を行うことで、生きたネットワークを拡げ、コーディネートの経験値を高 め、プロジェクト立ち上げに関わることで人材の組織的基盤強化を図ることができまし た。

#### 1. 相談事業

#### 日常的な相談対応

実績:634件

- 問い合わせフォームによる相談の一次受付を強化し、相談対応に必要な情報(相談の背景・団体の活動状況等)を効率よく得られるように工夫しました。
- 相談の管理に kintone (キントーン)を導入し、相談者や相談内容に関する職員間の情報共有や、対応状況の確認に役立てました。
- 2020年3月3日~31日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民活動に関する相談は原則電話やメールで対応しました。対面で対応する場合は、手洗いやマスク着用を徹底し、相談者と対応者が一定の間隔をとれるように配慮しました。

#### 中間支援連携相談

実績:22件

(相談者内訳: NPO 法人 10 件、任意団体等 8 件、個人(団体設立検討中) 4 件) この他、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施見送りが 1 件ありました。

相談案件の中から2件のプロジェクトについて、継続的に関わりました。(ビルオーナーが所有する空きスペースの活用プロジェクト(民生委員・地域活動団体・大学教員・大学生の参画によるプロジェクト)、NPO との連携によるスキルシェアサービス活用を通じた地域の活性化プロジェクト (NPO 法人の協力による、企業プロジェクトチームのプロジェクト)

## 各種専門相談

#### アドバイザー派遣

開催:通年

実績(12件:税理士派遣:7件、社労士派遣:5件)

(内訳: NPO 法人 11 件、一般社団法人 1 件)

#### 税理士による予約制相談

開催:2019年6月~2020年3月まで毎月第1火曜日に実施

(5月は、悪天候により中止)

実績:25件(月平均2.5件)

(内訳:NPO法人18件 一般社団法人:6件 任意団体:1件)

#### 資金調達相談

開催:奇数月の第3水曜日に実施

実績:1件(9月)

#### 2. 市民活動マネジメント支援事業

ミニ講義「NPO 法人として活動するために知っておきたいこと」(奇数月開催)

内容: ミニ講義「第1部: NPO 法人の理念と組織・運営の特徴」「第2部: 法人設立後の各種届出」「第3部: 総会事務と総会後の各種届出」

参加者数:延42名(3月はコロナウィルス感染拡大防止のため中止とし、電話・メール等で、個別相談として対応いたしました。)

## よこはま NPO 会計塾

<講師・講座内容>

講師:金森 洋二 氏 サポート講師:徳永 宣明 氏

- NPO 法人会計の基礎について
- 簿記の基礎について

簿記とは/簿記一巡の手続き/簿記特有の言葉(勘定科目など)/仕訳の仕方/帳簿の種類/仕訳帳から総勘定元帳へ/決算整理(未収・未払、減価償却、棚卸)とは/試算表とは"

● NPO 法人会計の具体的実践について (事例団体:認定 NPO 法人市民セクターよこはま)

<実施日・参加者数>

6/19 (水)【32 名】 6/26 (水)【32 名】 7/3 (水)【30 名】 7/10 (水)【28 名】 ※各回 14:00~17:00

#### よこはま NPO 労務塾

<講師・講座内容>

講師:平塚 綾子 氏

第1部: 労務管理の全体像

第2部:具体編 I 「労務管理のポイント」

第2部:具体編II「こんな時どうする!?ケース検討」

(事例団体:認定 NPO 法人こまちぶらす、認定 NPO 法人市民セクターよこはま)

<実施日・参加者数>

12月17日(火)10:00~16:30 【28名】

#### つながりのまちづくり未来フォーラム 2020

<実施日> 2020 年 1 月 15 日(水)17:00~20:30

<入場者数> 194名参加

<テーマ> 「その一歩が広がる未来へ」

◆実践報告 1:「ちょこっと子育てレスキュー隊」

(NPO 法人のはらネットワーク 山田 由美子さん、西田 清美さん、ちょこっと子育てレスキュー隊の皆さん)

◆実践報告 2:「大学生が団地に住んでまちが変わるか!?」

(旭区左近山連合自治会会長 NPO 法人オールさこんやま理事長 林 重克さん、横浜国立大学の皆さん)

◆実践報告3:「なくてはならない、ボランティア・プロボノの力」

(認定 NPO 法人地球市民 ACT かながわ/TPAK 事務局長 伊吾田 善行さん、プロボノ・ボランティアの皆さん)

◆実践報告 4:「協働ネクストステージ、未来に向けて」

(多様な主体による地域課題解決プロジェクト参画メンバーの皆さん、市民セクターよこはま事務局長 吉原 明香)

◆つながりトーク

(登壇者の皆さん、中島 智人さん (産業能率大学経営学部 教授)、阿部 真紀さん (認定 NPO 法人エンパワメントかながわ 理事長)、吉原 明香 (横浜市市民活動支援センター 責任者))

## 3. 情報の提供・発信事業

情報誌 animato(アニマート)

- 27 号 (2019 年 8 月 20 日発行)「After 6 & Holiday」
- 28号(2020年2月1日発行)「孤の時代に~市民活動の価値を捉えなおす~」 館内に配架したほか、登録団体・NPO 法人・関係機関等、約3,500か所に発送した。 また、ホームページや Facebook に掲載し、ウェブから読んでいただけるようにした。

#### ホームページ

イベント等の情報をすみやかに公開した。

● 市民活動支援センターの閉館のほか、クリーンセンタービル工事による会議室予約中 止や、土曜日の開館時間変更、新型コロナウイルス感染症拡大による閉館など、施設の 利用に関する重要なお知らせが目立つよう、スライド部分を活用した。

#### メールマガジン animato pico (アニマート・ピコ)

配信先:約3,800件(開封率13~32%)

配信頻度:月2回

2019 年 7 月にリニューアルし、より多くの方に読んでいただけるよう内容やレイアウトを 見直し、HTML 版では画像を多用した。

#### Facebook

投稿数 43 件 月平均 1,143 リーチ

フォロワー (2020年3月31日時点)891人

「イベントページ機能」を用いたイベントの情報発信のほか、アニマート誌面の紹介、共同 オフィス入居団体の紹介など定期的に更新を行った。

## 4. 各区の市民活動支援センター支援事業

市民活動・生涯学習支援センター職員新任者研修

<実施日> 4月24日(水)9:30~17:00

<テーマ> 横浜市職員としての心構え(公務員として)

支援センターとは/センター職員の役割について/生涯学習と市民活動の関係/横浜市の生涯学習、市民活動の施策・推進体制について

業務に対する極意 パート1・2

- 支援センター職員として業務にあたる上で大事な
- 考え方についての極意

学習情報についてのワーク他

<参加者数> 30名

※フォローアップ研修は、コロナウィルス感染拡大防止のため中止

#### ネットワーク会議

<実施日・テーマ>

第1回:2019年6月7日(金)9:00~12:00

テーマ「区版市民活動支援センターのマネジメント|

参加者数:13区17名(地域振興課担当係長7名、担当職員10名)

第2回:2019年7月5日(金) 14:00-17:00

テーマ「相談からのコーディネートに向けて」

参加者数:17区29名(地域振興課職員12名、センター職員17名)

第3回:2019年10月18日(金)14:00~17:00

テーマ「論理的に考え、先を見通し、道筋や方策を提案する力」

参加者数:17区27名(地域振興課職員8名、センター職員19名)

第4回:2020年1月31日(金) 14:00-17:00

テーマ「相手が自分自身で構想・行動を導き出す力を引き出すコーディネート」

参加者数:16区26名(地域振興課職員9名、センター職員17名)

## 5. 共同オフィス事業

入居団体 11団体

5月17日(金)「オープンミーテ(入居団体説明会・活動紹介)」

1月23日(木)「「共同オフィス見学・活動交流」

「活動報告会&卒業発表会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### 6. 施設管理

- 利用者数実績 36,380 人
- 2. センター閉館に伴う業務
- センター閉館に関するチラシの作成及び送付・館内配架チラシ ※送付先は別添資料参照



- センター閉館に関する問い合わせ対応件数 97件 ※問い合わせ団体・内容リストは、別添資料参照
- 各広報媒体での周知(HP、メールマガジン、Facebook)
- 周辺施設と調整のうえ、周辺施設一覧を作成し、センター利用者向け公開・配布することで活動への影響が少なるよう対応した。

#### 3. クリーンセンタービル改修工事に伴う業務

クリーンセンタービル改修工事に伴う騒音発生のため、2019 年 5 月 31 日 $\sim$ 12 月 28 日の会議室等の新規の予約を中止し、掲示・ホームページ等で周知を行った。

## 4. 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒用アルコールの設置、こまめな換気、 手洗い・マスク着用の呼びかけ等の対策を行った。2020年3月3日~3月31日一部機能を 除き閉館した。



# 2019(令和元)年度 事業報告書

管理運営:認定特定非営利活動法人市民セクターよこはま

## ■管理運営受託 2期目の運営方針と成果

前期 5 年に引き続き、今年度より 5 年間、当センターを管理運営することとなり、2019 年度は 2 期目の初年度として運営しました。前期 5 年で注力してきた「知ってもらう」ことに加え、一層、地域資源の掘り起こしや結び付けをし、西区や地域のニーズや課題に対し、区民が主体的・積極的に関わる土壌をさらに強固にしていきたいと考え、まずは、ニーズや課題を引き出し、それを皆で学び考えていく機会を創出していくことが必要と考えました。そこで、年度ごとに考えたい重点テーマを設定し、そのテーマに対して様々な視点からアプローチすることとし、1 年目「子ども」、2 年目「多世代」、3 年目「まちづくり」の 3 か年計画を設定しました。

「子ども」を重点テーマとした今年度は、子どもたちが、この西区で、活き活きと成長していくために何が求められるのか、何をしたらよいのかを考える機会とするべく、講座の開催や主に情報誌を通しての情報提供を行いました。結果、小さな事からでもできることをしよう、活動を広げていこうという気運が生まれたと感じています。センターの認知度が上がってきた2期目だからこそ、より一層、考える機会・活動のきっかけづくりに努め、共に考えながらしっかり伴走していくことが重要と考えています。

## ■2019 年度の運営方針と成果

今年度は、以下3つを重点事業とし、地域に根差し、地域に活用されるセンターを目指しました。

- 「子ども」について、様々な視点から考えました。
  - ・ 区内の様々なボランティア団体・NPO 法人・施設等と連携し、企画会を実施しました。
  - ・ 企画会で提示された「子ども」に関する視点・課題をもとに、講座等を開催し、皆で考える機会としました。
- 積極的に地域に出向き、生きたつながりをつくり、地域の活性化に努めました。
  - ・ 自治会町内会の会合等に参加し、区内の様々な活動団体・NPO 法人等の活動現場を訪問して、地域の情報収集に努め、課題・ニーズの把握に努めました。
  - ・ 自治会町内会と連携して、出張講座や出張コンサートなど地域の方が参加しやすい場をつくり、地域の活性 化の一助としました。
- 関係機関等とより一層連携し、地域資源や課題を共有し、地域の活性化に努めました。
  - ・ 例えば、高齢者の居場所づくりなど、地域に存在する多種多様な課題に対し、必要な機関・施設・関係者と連携し対応しました。

#### ■2019 年度のセンター利用実績

センター利用件数、利用人数ともに前年度を上回りました。相談については地域の方の相談に加え、活動団体、自治会、地域ケアプラザ、自立支援協議会、NPOなど、地域の施設や活動団体からの相談が増加し、複数の専門機関と連携する事例もありました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の措置により、3月3日より休館となったため、3月は電話での相談対応、 印刷・グループボックスのみの来館受付となりました。

項目	今年度累計	前年度累計	前年度比
相談件数	732 件	857 件	85.4%
センター利用件数	3,633件	3,521 件	103.2%
センター利用人数	9,616人	8,872 人	108.4%

# - 事業ごとの報告 -

# 1. 相談事業

◆相談機能の充実と日頃の会話から相談につなげる

相談の基本を大切にし、誠実に一人ひとりと向き合い、その方の真のニーズを引き出す力、想像する力を日々の実践や研修で高め、職員の相談力をアップすることを目指しました。その為、接遇や個人情報など、相談対応の基礎を再確認し、地域の施設や関係機関と連携を深め、ニーズに即した情報が提供できるよう取組みました。 定期的に利用される方々との日常的な会話や登録時のヒアリングからも、相談につながる糸口を見つけ、適切な情報提供ができるように心がけました。

#### 1) 相談機能の充実

- ・ 「関わりシート」を活用し、継続的な相談支援経過を可視化したことで、職員間での情報共有やつなぎ 先との連携が深まり、多様な方向から適切で円滑な対応を行うことができました。
- ・ 「はじめの一歩じっくり相談日」「団体運営なんでも相談日」等テーマごとの相談日を設けることで、じっくり と相談しやすい場づくりを行いました。

#### 2) 相談力の向上のための取組の実施

- ・ 職員全員で行う会議において、定期的に、最近1か月で行った相談対応の中の気になる事例をピックアップし情報を共有しました。また、相談内容や対応について検討し、今後に向けて、よりよい対応を考えました。
- ・ 職員研修において、相談対応における基本の3つのステップ(インテーク、コーディネート、クロージング) を行いました。相談場面を具体的に考えながら、対応の方法を学びました。

・ 活動団体、地域住民の方と共に学びながら基礎知識を高め、スキルアップを目指す職員研修を「認知症」「障がい」「救急救命」をテーマとして実施しました。(活動に役立つ知っておきたいシリーズ)

時間・場所	テーマ・内容
10/10 (木)	『もし、自分自身や大切な人が認知症になったら』
13:00-15:00	講師:高齢者 GH 横浜ゆうゆう 施設長 井上義臣さん
	自分自身や大切な人が認知症になった時のことを「旅のことばカード」を
受講者数:9名	使いながらイメージして、認知症についての基本的理解や対処方法につ
@にしとも広場	いて一緒に考えました。
12/13(金)	『精神障がいについて 当事者から学ぶ』
13:00-15:00	講師:生活支援センター西 利用者
	生活支援センター西 施設長 永瀬誠さん
受講者数:11名	ストレスの多い現代、精神障がいは誰もがかかる可能性がある病気で
@にしとも広場	す。生活支援センター西の利用者さんと共にグループワークを行い、
	様々な状況の方が地域の中で共に暮らすことを考えました。
1/28(火)	『いざという時役立つ 救急救命』
13:00-15:00	講師:一般社団法人 EMR 河波弘晃さん
受講者数:7名	基本的な心肺蘇生法や、AED(自動体外式除細動器)の操作を学
@にしとも広場	び、緊急時の対応について実例を通し具体的に学びました。







# 2. 情報提供·発信事業

◆様々な情報提供のツールを使い、定期的、多面的に情報を発信

昨年度に引き続き、当センターの持つ情報や当センターの周知をさらに促すために、3 つの紙媒体を活用しました。また、日常のお知らせについて、フェイスブックとホームページを併せて活用しました。

#### 1) 情報紙『にしとも広場』(カラー冊子・全 8P)の発行

・ 今年度の重点テーマとリンクし、「子どもを大切に思う全ての人と」をコンセプトに、年2回(9月・3月)、5,000部/回を発行しました。

・ 各号、西区で子どもに関わる活動をしている方々に、活動の原点や想いについて取材し、地域活動・市民活動のはじまりや継続に役に立つよう、わかりやすい情報として発信しました。

#### <特集内容>

第13号:「子どもを大切に思う全ての人と」

特集記事:地域で育つ子どもを考える

掲載団体:にしともるーむ、フリーサロン5、あみだな、よこはま布絵本グループ、訓練会キャロット、

共育会

・ 第 14 号: 「子どもを大切に思う全ての人と Part2 」

特集記事:地域で育つ子どもを考える

掲載団体:あずまつこ、子育て相談パートナー、浅間台見晴らし公園外遊び運営委員会、

よこはま学習教室、かもん未来塾、横浜 18 区ブランディングプロジェクト





<14号>

<15号>

#### 2) 簡易版情報紙『にしとも広場 mini』 (カラー A 4 両面印刷) の発行

- ・ 表面にはトピック・お知らせ、西区街の名人達人の「来て見て聞いての日」を、裏面にはにしとも広場のイベントカレンダーや自主事業の活動などを掲載し、年4回(5月、9月、12月、3月)発行しました。
- ・ 情報紙『にしとも広場』と同様、自治会町内会の班回覧を活用しました。写真やイラストなどを効果的に 使用し、分かりやすく、インパクトのある紙面づくりに努めました。









<11号> <12号> <13号> <14号>

#### 3) フェイスブックでの情報発信

・ 2017 年度にフェイスブックページを開設して以来、 SNS を通じた情報収集が得意な世代も含めた幅広い層への情報発信ツールとして、よりタイムリーに、イベントの開催内容やにしとも広場のイベント情報を発信しました。少しずつですが、フォロー数も増加しました。



・ フェイスブックページへの「いいね」数:428人 2020/3/31

(参考: 156人(2019/3/31時点))

#### 4) ホームページでの情報発信

- ・ 地域やにしとも広場で開催されるイベント情報やボランティア 募集情報など、タイムリーな情報発信を行いました。
- ・ 『にしとも広場 mini』など紙媒体では、Q Rコードを掲載 し、ホームページの存在をアピールし、フェイスブックと連動さ せるなど、ホームページへの誘導を行いました。



#### 5) 展示スペースの活用

- ・ 壁面ギャラリーコーナーと立体作品の展示スペース「小箱ギャラリー」の活用を周知しました。
- ・ 積極的に活動団体・個人に展示を呼びかけ、開催講座の見本作品や講師製作物の展示を行い、活動の周知に活用しました。
- ・ 展示作品をきっかけに、活動を始めたいと考え、講座依頼を検討する方もありました。

# 3. 活動団体のマネジメント支援および、ネットワーク支援事業

◆活動がステップアップする機会や情報を提供し、より活発な活動となるよう支援

地域人材ボランティア『西区街の名人・達人』や登録団体などの活動がより活発になり、地域でも活躍の場が 増えるよう支援しました。

#### <1> 地域人材ボランティア事業『西区街の名人・達人』(以下『西区街の名人・達人』)

#### 1)『西区街の名人・達人』の登録更新

- ・ 登録者全員に呼びかけ、希望者に「来て・見て・聞いての日」で講座や演奏を披露する機会を作りました。
- 2020/3/31 時点の登録数 141 件。(新規登録 16 件、高齢による活動停止や、転居などの理由を 含む更新辞退 20 件、 2019 年 3 月 145 件より▲4 件 前年度比 97.2%)

#### 2) 『西区街の名人・達人』のコーディネート

- ・ それぞれの長所を活かしたコーディネートができるよう、職員が活動先に出向き、実際の活動の様子を知る 機会を作りました。活動内容については、コーディネート時に詳しい情報を提供できるよう職員間で情報共 有しました。
- ・ コーディネートの相談があった際には、単なるコーディネートにとどまらず、相手のニーズを丁寧に聴き、地域や 活動がより活性化するよう心掛けました。
- ・ コーディネート 申込 52件(前年比 108.3%)、成立 43件(前年比 97.7%)

#### 3) 『西区街の名人・達人』の活動披露の場づくり

・「昼どきコンサート」や「来て・見て・聞いての日」、「うたごえ広場」などで活動を披露する場を作りました。

#### ●昼どきコンサート

- 子ども連れでの参加や、障がい者、高齢者施設からの参加も増えました。
- ・ オカリナなど、コンサート後に習いたいという問い合わせが数件寄せられたケースもありました。
- ケアプラザのコンサートや地区センターの講座実施につながるケースもありました。

開催日	出演グループ(敬称略)	ジャンル	参加者数
4/2(月)	廣原 武乃	津軽三味線	50名
5/27(月)	La seed	クラッシック	31名
6/24(月)	莉玲	歌・手話ソング	18名
7/22(月)	金子 敏郎	カントリー&ウエスタン	42名
8/26(月)	ママ音楽ユニット♪ショコラッティ♪	歌・手遊び歌	27名
9/24(月)	音遊びぐるっぽ	歌・コーラス	9名
10/28(月)	TH's ファンタ s y	ミュージックベルとトーンチャイム	20名
11/25(月)	音緒の会	三味線	17名
12/23(月)	La seed	クラッシック	31名
1/27(月)	オカリーナ はま風	オカリナ	16名
2/25(月)	日本の音色を楽しむ会	民謡	25名

3/23(月) ママ音楽ユニット♪ショコラッティ♪ 歌・手遊び歌 休館のため中止

計 286 名









#### ●西区街の名人・達人によるミニ講座「来て・見て・聞いての日」

- ・ 開催希望が増え、ひと月に2~3講座となる月もありました。
- ・ 講座参加者の要望を受け、自主事業として年に3回の開催したものもありました。また、講座開催後に自主グループや、自主企画の講座へ発展するものがありました。

開催日	題名	講師(敬称略)	参加者数	
4/21(金)	和みのヨーガ かるた大会	シャンティ	7名	
5/25(土)	お散歩フォトとカフェ写真の撮り方	フォトラボ・ルーチェ	23名	
5/31(金)	北欧モチーフとヒンメリのビーズストラップ	田中 碧	8名	
6/29(土)	親子で楽しむお話し会	えほんのはらっぱ	14名	
7/27 (土)	緑茶ベースのデトックスウォーター	井上 香織	6名	
8/4 (日)	わくわく♪剣舞体験	丹羽 滉鳳・小島翔鳳	25名	
9/1 (日)	季節のミニ飾り(お月見)	髙野 圭子	6名	
9/20(金)	ミリアイナわくわく講座(フラダンス)	日沼 友希	11名	
10/7(月)	ちゃぼさんと打楽器を叩いてあそぼう!	加藤 ちゃぼ	9名	
10/10 (+)		にしくシティガイドグループ	10.47	
10/19 (土)	(こしくフォト散歩「ランドマーク三十六景」	フォトラボ・ルーチェ	19名	
10/25(金)	みんなのための遺言と相続	新井 克巳	5名	
11/14(木)	ゴスペルヒップホップ	Onethingcrew	6名	
11/16 (土)	   にしくフォト散歩「ランドマーク三十六景」2	にしくシティガイドグループ	12名	
11/10 (11)	にいうが一般多いランドマーケニ・イバ京」と	フォトラボ・ルーチェ	12 12	
11/30 (土)	水墨画で描く干支の年賀状~子年~	吉田 紅峯	6名	
12/1(日)	声磨きボイストレーニング	美姫 ヒカル子	9名	
12/14(土)	キラキラ輝くクリスマスのサンキャッチャー	森田 順子	7名	
1/12(日)	気軽に体験!落語と南京玉すだれ	よろず家 芝吉	3名	
2/7(金)	ベビー&ママニコニコ3B 体操	(公社)日本 3 B 体操	12名	
2/29 (土)	げんき絵手紙	川口 整	8名	
3/5(木)	津軽三味線演奏会	廣原 武乃	休館のため中止	
3/27(金)	初めて大歓迎!大人のバレエストレッチ	森永 真希	休館のため中止	

計196名













#### ●うたごえ広場

- ・ 参加希望人数が多数となった為、年度途中から事前予約制、午前・午後の2部制となりました。
- ・ 毎回参加する方も多く、西区内他の施設での演奏依頼も増えました。

開催日	演奏者	参加者数
5/12 (日)	一座にしエイチファイブ	66名
7/14(日)	一座にしエイチファイブ	64名
9/29 (日)	一座にしエイチファイブ	120名
11/10 (日)	一座にしエイチファイブ	64名
1/19 (日)	一座にしエイチファイブ	81名
3/8 (日)	一座にしエイチファイブ	休館のため中止

計 395名













## ● 出張コンサート

・ にしとも広場へ来館しにくい地域にも、『西区街の名人・達人』の活動を知ってもらう機会として始めた 出張企画です。今年度は以下の演奏依頼に対応しました。

開催日時·会場	題名	出演者	参加者数
9/12 (土) 11:00-12:00	一年づかて こっとかせの明今	度质光力	1 5 27
@浅間町5丁目 町内会館	元気づくりステーションお茶の間会 	廣原武乃	15名

1/19 (日) 14:00-14:45	ブリリアみらいコミュニティ	La Caad	21.67
@ブリリア 2階ロビー	新春コンサート	La Seed	31名

#### 4) 『西区街の名人・達人』のホームページ掲載情報の更新

・ 新規登録の際には速やかにデータベースに追加するとともに、ホームページでも紹介し、活動の周知に努めました。

#### 5) 登録団体・者の活躍&交流の場(「おりがみカフェ」「みちあそび」)

#### ●「おりがみカフェ」

- ・ 幼児から高齢者まで多世代が参加。おりがみ講師が初心者から上級者、レベルに合わせたおりがみを提供 し、それぞれに楽しむことができる時間となりました。
- ・ おりがみカフェ終了後には、講師同士の交流会を実施し、互いの作品や活動・思いなどを話す時間を持ちました。

開	催日時	内容	参加者数
		「おりがみカフェ 夏」	
		西区街の名人・達人登録のおりがみ講師3組による	
7/21 (日)	10:00-12:00	おりがみ教室	38名
		(同時開催) 読み聞かせボランティア「えほんのはら	
		っぱ」による、えほんの読み聞かせ	
2/22 (□)	10.00 12.00	「おりがみカフェ 春」 西区街の名人・達人登録のお	仕窓のため内に
3/22 (口)	10:00-12:00	りがみ講師 3 組によるおりがみ教室	休館のため中止

計 38名









#### ●「みんなで!!みちあそび」

共催: NPO 法人はぐっと・公益財団法人よこはまユース・浅間台みはらし公園外遊び運営委員会・子育て世代ににしとも広場を知ってもらうことを目的に、昨年に引き続き、2回開催しました。 多くの親子が参加して、チョーク遊び、水あそびなどを楽しみました。

- ・2017 年度の地域大卒業生でもある「浅間台みはらしプレイパーク運営委員会」が、昨年はボランティアとして、 今年度は共催団体として参加し、子どもたちの遊びが広がりました。
- ・よこはまユースが呼びかけた高校生ボランティアが 5 名参加し、子どもたちと一緒に遊びながらサポートしました。
- ・読み聞かせグループえほんのはらっぱが、読み聞かせを行いました。

開催日時	内容	参加者数
7/28 (日) 10:00-12:00	チョーク遊び、水遊び、カプラ、新聞紙遊び	104名
9/8 (日) 10:00-12:00	会場:にしとも広場の屋内・屋外	67名

計 171 名











#### <2>登録団体の活動支援及び交流の促進

#### 1)登録団体の活動支援を行いました。

- ・会員募集や、イベントのチラシを貼りだすスペースを設け、活動につがるよう支援しました。
- 印刷や、ミーティングスペースでの活動についてサポートを行いました。
- ・2020/3/31 時点の登録数 195件。(2019/3/31 時点 186件。9件増加)

#### 2) 登録団体の交流 →延期(コロナウイルス感染拡散防止に係る休館のため)

登録団体及び西区街の名人・達人の交流会を企画しました。
 開催日時:2020/3/19(金) 交流会 16:00-17:00 懇親会 17:00-19:00
 40名の申込みがあり、開催希望の声も強くあり、来年度の開催を予定しています。

#### <3>西区民まつりへの参加

- 全体を通し、525名(昨年度比 150%)の参加がありました。
- ・ にしく名達の会、NPO 法人はぐっと、藤棚一番街商店街などの協力を得てスタンプラリーを実施しました。
- ・ 西区街の名人・達人登録者への呼びかけを行い、講師の作品をスタンプラリー景品として寄贈を依頼、 その他の景品についても咲弘洞(居場所)、仕事処アニミ(障害者就労移行支援施設)から購入するなど地域資源を活用しました。

- ・ 施設前のスペースでチョーク遊びを行い 168 名の親子連れが楽しみました。
- ・ 西区街の名人・達人に登録の「カタビラーズの戦隊ショー」や、「地域密着!着ぐるみ懐メロ音楽隊 日ノ 出サンデーズ」のコンサート、よこはま布えほんぐるーぷの布絵本やおもちゃ、日本茶インストラクターのボラン ティア参加など、日々の関わりから生まれたつながりを大切にしました。











# 4. 地域支援事業

◆ 地域で活躍する人材の掘り起こしと養成

当センターに来館される「何かをしたい」「何ができるだろうか」「活動したいがどうしたらよいかわからない」というような思いを活動につなげるきっかけづくりをし、地域での活躍を促しました。

#### 地域活動·市民活動応援講座

ボランティアを始める上での心構えや実践者の話を聞く機会、実際の活動を体験してみる機会、気軽に参加できる趣味で集まる機会などを設け、幅広い層の活動参加を促しました。地域課題やニーズにあわせ、関連施設・機関と、企画段階から協力いただくなどの連携も考慮しながら実施しました。

#### 1) 地域で育つ子どもを考える

横浜市立大学 准教授の三輪先生の基調講演を基に、小さな時から地域と関わりを持って暮らし、子どもたちを地域で見守り、育てることを考えました。出産前から、青少年まで、子どもを支援しているみなさんと、参加者ととも に、地域の中で何が課題で、何ができるのかを共有する時間となりました。

日時·場所	内容
7/7(日)	基調講演 講師:横浜市立大学 三輪律江先生
13:30-15:30	パネリスト 西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 山田美智子さん
@にしとも広場	公益財団法人よこはまユース 守田洋さん
受講者数:30名	西区第四地区社会福祉協議会 米岡美智枝さん

2020/2/11 (火)

13:30-15:30

@にしとも広場

受講者数:23名

コーディネーター 上岡美津子さん(元小学校校長)

パネリスト 西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 山田美智子さん

公益財団法人よこはまユース 菊地聡太さん

西区民生委員児童員協議会 武田容子さん







#### 〈アンケートより〉

7/7(日) 平均点 90点/100点満点

- ・とても参考になりました。時間が足りないくらいでした。
- ・地域の中で子どもを育てること考えたいと思います。
- 2/11(火) 平均点 88点/100点満点
  - ・いろいろな活動をしている方がいたので刺激になりました。
  - ・自分の活動のヒントになりました。

#### 2) リユースの日

普段にしとも広場に足を運ばない子育て世代の方に、にしとも広場を知っていただくきっかけとして実施しました。

日時·場所	内容
6/30 (日)	リユースの日 第1回目
10:00-11:30	対象:0歳~小学生の洋
@にしとも広場	服・玩具・絵本など
参加者数:71名	
11/23 (土)	リユースの日 第2回目
10:00-11:30	対象: 0歳~小学生の洋
@にしとも広場	服・玩具・絵本など
参加者数:72名	



#### 3) 外国につながる子ども対象 にしともるーむ

2018 年度事業「日本語・学習支援ボランティア養成講座」の修了生が中心となり、 2018 年 9 月より学習支援教室「にしともるーむ」を開始しました。

(毎週火曜日 16:00~17:00、第1・3土曜日 10:00~11:00 実施)

様々な国につながる子ども 12 名程度の小学生が通い、ボランティアの方とマンツーマンで、宿題など自分に必要な勉強をしました。

2019/4~2020/3 実施回数 67 回 (3月は休館のため実施なし)



#### 4) 魅力的な空間づくり~空きスペース・空き部屋・空き家の可能性を考えよう~

社会的課題としてニュース等でも取り上げられている「空き家・空きスペース・空き部屋」について、市民活動や 地域活動との関連性をお話しいただき、「空間」から考えるまちの魅力づくりについて学び合いました。

福祉的な側面から空き家活用を考えている方、実際に空き家などの物件を持っている方からの申し込みが多くありました。

日時·場所	内容
9/5 (木)	「魅力的な空間づくり~空きスペース・空き部屋・
13:30 - 15:30	空き家の可能性を考えよう~」
@にしとも広場	講師:NPO 法人横浜プランナーズネットワーク
受講者数:16名	山路清貴氏
	講義、アイディアミニワーク



<アンケートより> 平均点 89 点 (100 点満点中)

- ・近くの地域で既に魅力的な活動がされていて、見学などにいってみたいと思いました。
- ・具体的なつながりを連想する機会になりました。考えを進めてみたい。

#### 5) マンション防災講座

マンションならではの地震被害や、防災対策と課題、地域防災拠点との連携などについて学び合いました。認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークからは、マンション防災にあたって知っておきたい基本事項についてお話いただきました。

内容
講師:
認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク



<アンケートより> 平均点 90点/100点満点

・地震や水害が相次いでいて、防災に対する関心が高まっている。今こそ住民の啓発のチャンスと思いました。

- ・発災時、段階を追って管理組合がなすべきことがわかって良かったです。
- ・大地震の動画を TV などでよく観ていても、今回の講義の動画は、圧倒されました。 自宅での対策もきちんと 考えたいです。

#### 6)情報発信基本のキ

活動団体の情報発信力の向上を目的として、情報発信の基本の考え方、発信物のブランド化、情報発信のスケジュール管理、簡潔に相手に活動内容を伝える大切さなどについて学び合いました。

日時·場所	内容
2020/2/8 (土)	「共感を生み出す情報発信」
13:30-15:30	講師:株式会社イータウン 代表 斉藤保氏
@にしとも広場	
受講者数:9名	講義、グループワーク



#### <アンケートより> 平均点 91 点/100 点満点

- ・地域とのつながりの重要性を知れて良かった。色合いのポイント、勉強になりました。
- ・広報の基礎を学べて良かったです。
- ・自分のチラシを他の人に見もらうワークは少し恥ずかしかったですが、色々な意見をもらえてとても良かったです。
- ・PR について課題があったので、解決策につながる情報をたくさん GET できました。

#### <3>意見交換会の実施

自治会町内会、センター利用者、地域人材ボランティア、区内関連施設などの方々にお集まりいただき、当センターの事業や役割について、また地域にある課題やニーズについてなど意見交換をしました。

日時·場所	参加者
1/31 (金)	(以下 9 名)
16:00-17:30	西区第五地区自治会連合会 会長 平野 周二さん
	西区第四地区社協 会長 米岡 美智枝さん
	藤棚一番街協同組合 理事(今井かまぼこ店) 今井 宏之さん
	西区在宅介護者のつどいあけぼの会 代表 竹下 淳子さん
	にしく名・達の会 会長 服部 和男さん
	NPO 法人西区はーとの会 理事長 三宅 義子さん
	生活創造空間にし 施設長 阿部 浩之さん
	西区子育て支援拠点 スマイルポート 施設長 山田 美智子さん

#### くご意見より>

- にしとも広場は、情報収集の場と思っている。防災講演会など、昨年に引き続き実施してほしい。
- あちこちに顔を出していろいろ歩いているところが、にしとも広場の良いところだと思う。
- ・ 商店主も地域を抱えて生きることが大事なので、情報共有しながら進めていきたい。
- ・ 地理的に遠いので、知恵をもらったりしながら協働の仕事ができればと思う。

# 5. 区・区民利用施設等との連携事業

◆地域カアップを目指し、地域情報の共有と連携の促進

#### <1>区民利用施設等との連携会議の実施(年1回)

地区センターやコミュニティハウスなど、情報共有の機会を持ちにくい施設もあるため、西区全施設が集う本会議は、貴重な情報提供・共有の場となっています。今年度も昨年度同様、連携に進むきっかけとして「お土産カード」を用意しましたが、お互いの顔がわかる関係の中、昨年以上に多くのお誘いコメントがあり、次年度の連携に向けて有効な場となりました。

日時·場所	内容
12/10(金)	①高齢・障害支援課による情報提供
13:00-15:00	②事前アンケートをもとにした事業発表・共有
@にしとも広場	③お土産カードの記入(各施設に「いいね」「ご一緒に」の点で記入する)
参加:16施設19名	・事前アンケートとして「次年度の事業、ちょっと困っていること、一緒にしたいこと」を
(欠席 2 施設)	各施設から提出してもらい、とりまとめ一覧にしたものを当日全員の手元資料とし、
	発表・共有のツールとしました。
	・お土産カードの記載内容は、後日とりまとめ、一覧にして施設間で共有しました。

#### <2>センター事業における区内施設等との連携

●生活支援センターにし との連携

昨年に引き続き、『精神障がいについて 当事者から学ぶ』として、生活支援センターにしの利用者の方に登 塩いただく講座を 12 月に開催しました。登壇することが、ご自身の自信やステップアップにつながると、双方に とって開催意味のある講座となりました。(P.3 参照)

●市民局市民活動支援課・西区地域振興課との連携 NPO 法人の制度や実際の活動について学ぶことを目的とした「NPO 法人入門講座を実施しました。

日時·場所	内容
1/24(金)	講義:「NPOってなに?」
9:30-11:30	センター長 加世田恵美子
@にしとも広場	実践報告:
参加:25 名	NPO 法人 Umi のいえ 斎藤麻紀子さん

#### 〈アンケートより〉

- ・NPO がどういうものか、活動している人がどのような志で活動しているのかが 概要的によくわかった。基本的な知識が身についた。
- ・NPO という言葉しか知らず、自分もまだイメージでしかないことの中での 受講だったが、とても分かりやすかった。
- ・Umi のいえがどんな想いで NPO を立ち上げられたのかが参考になった。



#### <3>地域振興課が実施する生涯学習・市民活動支援講座 運営支援

- 「留学生と交流しながらガイドをしよう」講座の広報協力を行いました。
- ・ ガイドグループ「にしくシティガイドグループ」の活動支援として、当センターの活動団体、西区街の名人・達 人の登録へとつなげ、地域振興課と連携して活動定着を図りました。

# 6. 施設環境への取り組み

◆ 小さな出会いを大切にし、つながり・活動を育む、居心地の良い場へ

区民まつりやイベントに参加した親子が、友だちと一緒に来館し、キッズコーナーで子どもを遊ばせながら子育てイベントのチラシを見たり、地域づくり大学校の参加者が「にしとも広場」を使ってイベントを開催したりと、小さな出会いが次につながっています。丁寧な対応や、適切な情報提供と共に温かな場づくりを心掛け、「とりあえずにしとも広場に行ってみよう」、そう感じていただけるような、つながり・活動を育む場を作りだせるよう工夫しました。

#### 1) 誰もが立ち寄りたくなる場づくり

- 昨年に引き続き、「昼どきコンサート」など、誰もが気軽に参加できるイベントを開催しました。
- ・ 参加者同士が知り合える、何となく仲良くなれるきっかけづくりを心掛けました。
- 地域人材ボランティアバンクの登録者の発表の場としても活用しました。
- ・ グループボックス(ロッカー)を新しくし、設置数・収容量を増やし、活動者の利便性を図りました。
- 外看板を常設掲示板に変更し、閉館時でも情報をお伝えできるようになりました。

#### 2) 居心地の良い環境づくり

- ・ コーヒーコーナー (※) とキッズコーナーを設け、居心地の良い空間を創りました。コーヒーコーナーを利用して、 地域の方が休憩したり、区役所帰りの親子連れが食事をするなど、小さな居場所としての活用につながりました。 (※新型コロナ感染防止の対応として 2 月 20 日利用停止)
- ・ 配架しているチラシの中から、おススメ情報をピックアップして、入り口の掲示板に貼り出しました。
- センターに立ち寄られた方に、センターを利用しての活動を積極的に呼び掛けました。

#### 3) 施設内安全への配慮

- チラシ配架のラックの状態や、掲示物については画鋲が取れていないかなどを確認しました。
- 月に2回、日を定めて設備や機材を点検し、安心して利用できる環境とし、事故を未然に防止しました。
- ・ ウィルス感染防止対策として、手指消毒を常備し利用を呼び掛けるとともに、利用後は机等のアルコール消毒 を行いました。
- ・ 車いすや、ベビーカー、歩行に不安がある方も含め、どなたにでも安心してご来館いただけるように、入り口の段差を無くし、自動ドアに変更しました。(小さなお子様が急に飛び出したりしないよう、施設内の開閉ボタンは設置位置を調整しました。)

# 7. 職員配置体制・資質向上への取り組み

◆日頃からのコミュニケーションを大切に

職員個々のモチベーションはセンターの雰囲気にも影響します。日頃からのコミュニケーションを丁寧に行うこと は、職員間の人間関係や、センターの雰囲気づくりや居心地のよさにつながると考えます。研修については、今年 度も常勤・非常勤ともに、内外の研修に参加し、スキルアップと新しい視点を取り入れるよう努力しました。地域 の中へも積極的に出向き、コミュニケーションの中で生きた情報の橋渡しができるよう心掛けました。

#### 1) 現場訪問

- ・ 市民活動や地域活動の現場に出向く機会を大切にしました。
- ・これらを職員間で共有する機会を設け、相談対応力やコーディネート力のアップにつながるよう努力しました。







〈NPO 法人街カフェ大倉山ミエル〉 〈生活支援センター西クリスマス会〉

〈羽沢西部お月見会〉

#### 2) 相談力向上に向けた研修の実施(再掲)

- ・ 職員全員で行う会議において、定期的に、相談対応の中の気になる事例をピックアップし情報共有・内容検 討をし、今後のよりよい対応につながるよう努力しました。
- ・ 職員研修において、相談対応における基本の3つのステップ(インテーク、コーディネート、クロージング)を再 確認しました。
- ・ 活動団体、地域住民の方と一緒に学ぶ研修を開催し、共に学びながら、基礎知識を高め双方のスキルアップ につながる機会を作りました。

#### 3) 防災・減災、防犯、個人情報保護などに対応した研修の実施

- ・ 利用者がいる場合の地震や火災などの緊急時の対応や不審者が来た場合の対応を、職員会議等を通し学 びました。
- ・ 個人情報保護に関する研修を全職員参加で実施し、さらに、日々の業務の中における情報漏えいを起こさな い仕組みを全員会議で点検しました。
- ・ AED や心肺蘇生法の研修を実施し、救急救命の基本を再確認しました。

#### 4) 他区の区版支援センターとの情報交換および交流、研修への参加

- ・ 横浜市市民活動支援センターが実施するネットワーク会議に参加し、他地域の先進事例を学びあい、積極 的に情報交換を行いました。
- ・ 相鉄沿線6区市民活動支援センター会議を開催し、情報の共有を含め連携を深めました。(年1回開催)

#### 5) 外部研修への参加

各職員が、自主的に、自らの成長に必要と考える研修に参加しました。

#### 参加研修(抜粋)

開催日	研修名	主催等
9/1 (日)	人が集まるイベント企画とチラシの作り方	男女共同参画おおた 坂田静
9/1 (山)	八分末よるイベント正画とナブンの下が	香氏
11/18(月)	地域のまなざしと「ひきこもり」	公益財団法人よこはまユース
		NPO 法人参加型システム研
11月~12月	地域活動 スタートアップ講座	究所、かながわコミュニティカレッ
		ジ事務局
6月~9月	NPO&施設のためのビジネス基礎講座	東京ボランティア・市民活動セン
о Д∼9 Д	NPO & 加設のためのこと不入参使調座	ター
12/2(月)	つながりが生み出すにこやかな暮らし	西区役所
12/23(月)	援助職・家族向け研修	西区役所
2/26 (34)	「つなげる」ためには何が必要か。~コーディネートに必要	教育委員会生涯学習文化財
2/26(水)	な知識と能力を考える~	課

# 8. 西区役所との協働

#### 1) 定例会議や組織会議でお互いの成果や課題を丁寧に共有

- ・ 定例会議を月1回実施するほか、日常的にお互いの事業やそれに関わる情報を共有しました。
- ・ 地域振興課管理職と当法人事務局長及びセンター長との会議の場「組織会議」を、四半期毎に設けました。センター運営状況や組織が一体となって運営していることをお互いに理解し共有し、信頼関係をさらに強めました。

#### 2) 協働契約書を締結し、センターの事業目的の共有と双方の強みを活かした運営の実現

- ・ 区役所と民間である当法人が協働で事業運営に取り組むことで、双方の強みを生かし、相乗効果が得られるような運営としました。
- ・ 区役所幹部と当法人役員の意見交換の場を設け、センターの方向性を共有しました。

#### 3) センター運営に関する協働のふりかえりの実施

・ 年度終了後に、「協働に関する相互検証シート」をお互いに作成し、にしとも広場の運営を協働で取り組ん だことに関してふりかえりを行いました。

以上



# 2019年度 第5期 神奈川区地域づくり大学校

# ■ 事業報告書 ■



#### ●実施概要

#### 主旨:

「住んでいてよかった」と思える地域を自分たちの手で実現するため、地域課題を解決する手法を 区内外の事例を交えて学び合う場。特に、自治会・町内会等の地域活動を支える人材育成をテーマ に取組みます。

#### 実施体制:

神奈川区連合町内会自治会連絡協議会

神奈川区役所

認定 NPO 法人市民セクターよこはま

(協力:社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会)

#### 実施期間:

2019年9月7日(土)~2020年2月29日(土) <全6回>

#### 対象者:

現在、神奈川区で自治会町内会等の地域活動(青少年指導員、子ども会、PTA、おやじの会など)に関わっていて、将来も、自治会町内会等での活動をしたい方、または、これから活動に関わりたい方

#### 募集方法:

各自治会町内会長による推薦に基づき、各地区連合より公募(定員:20名)

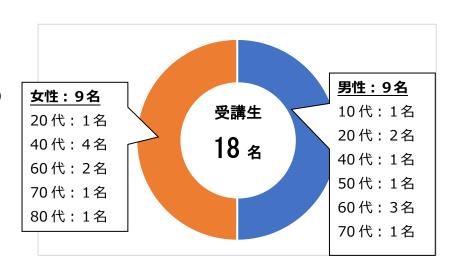
#### 参加者:

#### 市民 18 名

(うち自治会町内会推薦12名)

#### 行政職員5名

(区長及び区政推進課)



卒業17名(うち、皆勤賞8名) ※1名、途中辞退

※卒業要件: 夢プランの提出 ※皆勤賞:全回出席・夢プランの提出

## ●プログラム:

9/7(±)

ランチ交流会

9:30-14:30 神奈川区役所5階大会議室

私たちのまち、神奈川区を知る ~出会いから始まる地域づくり~



神奈川区の地域づくりに関する講義や卒業生による 話を聞き、受講生同士で交流し、これからの調座の下 地とします。

第2課 10/6(日)

パスツアー

9:30-16:00 区内の現地見学

課外授業 part1

ちょっと先を行く、身近な先輩から学ぶ



- 区内で輝いている地域活動の現場をパスで巡り、アイ デアや取組方法を学びます。

第3課 11月

個別環地見学

(日時は見学先ごとに決定します) 区外の現地見学

課外授業 part2 訪ねて発見!目からウロコの個別見学



区外の特徴的な取組をグループに分かれて見学し、理 解を深めます。

見学先は、地域の交流の場や子育て、防災をテーマとし た活動から選択できます。

夢ブラン作成①

ムリなく楽しく始める第一歩



第3講の現地見学で学んだ内容を振り返るとともに、 実践者が見つけた地域づくりの手法について学びま す。後半は「夢プラン」の作成に向けて第一歩を踏み出 します。

第5課

夢プラン作成②

9:30-12:30 地下1階機能訓練室・研究室

自分の思いをデザインする



講師からアドバイスをもらいながら、受講生同士、 お互いに「夢プラン」の内容をブラッシュアップし ていきます。

#6#

卒業式

9:30-12:30 神奈川区役所5階大会議室

地域にはばたく夢プラン発表会 ~つながり、広がる地域の輪~



これまでの学びをもとにしたアイデアを受講生や 地域のみなさまと共有し、地域づくり大学校での 様々な出会いから地域活動の輪を広げていきます。

#### 第1講 開校式 / 私たちのまち、神奈川区を知る~出会いから始まる地域づくり~

日時: 2019年9月7日(土) 9:30~14:30

場所: 神奈川区役所 5階大会議室

講師: 髙橋 博之 さん(社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会 事務局長)

田中 揚子 さん(みどりと水を守り育てる「地域環境向上委員会)

【参加者:総勢26名】

受講生18名

事務局8名(連合町内会1名・区職員5名・セクター2名)

#### ねらい:

・ 神奈川区の地域づくりに関する講義や受講生同士の交流を通じて、自分たちの地域の魅力や課題などを共有し、これからの講座の下地(区内の地域や生活の現状・課題の共有、受講生同士の関係づくり)をつくる。

#### プログラム:

9:30- 開校式 ~挨拶~

佐藤 潮 (神奈川区連合町内会自治会連絡協議会 会長)

高田 靖 (神奈川区長)

吉原 明香 (認定 NPO 法人市民セクターよこはま 事務局長)

- 9:50- 自己紹介タイム(全体発表形式)
- 10:30- オリエンテーション
- 10:40- 講義「神奈川区の地域づくりに向けて」

講師:髙橋 博之 さん

11:15- 卒業生による体験談

講師:田中 揚子 さん(第1期卒業生)

- 11:43- シェアタイム
- 12:00- ランチ交流会 ~休憩~
- 12:50- グループワーク「自己を語る」

進行:関尾 潤(認定 NPO 法人市民セクターよこはま)

- 14:23- アンケート記入・事務連絡
- 14:30- 終了

午前中は、開校式を行ったあと、受講生による自己紹介からスタート。全体で輪になり、お題を 交えながらの自己紹介を行い、リラックスした雰囲気が生まれました。

全体オリエンテーション後、神奈川区社会福祉協議会事務局長の髙橋さんによる講義では、神奈川区における地域の現状や課題等について、また、第1期の卒業生である田中さんからは、地域づくり大学校での学びを交えて、これまでの地域の活動についてお話いただきました。

田中さんの話を聞くことで、地域づくり大学校のイメージを掴むとともに、取組みへの熱意や行動力が伝わり、大いに刺激を受けました。





お昼の「ランチ交流会」では、「一の会」さんのお弁当をいただきながら、グループでの交流を深めて、午後のプログラムへと入りました。

午後は、「自己を語る」と題したグループワーク。自身としてどのように地域と関わっていきたいか、また、自身の人生を振り返ったときに、印象に残っている出来事やターニングポイントなどを少人数のグループで語り合いました。お互いに聴き合う相手がいることによって、自身のことについてじっくり話すことができ、その中で、自身の思いに気づいたり、考えが整理されたり、お互いに深く知り合うことができました。





#### <学びのまとめ・アンケートから>

#### 内容に対する点数

#### **平均92.3点**(18名中13名回答)

※以下、100点以上は全て100点として換算

100	点	~	7人	
90	点	~	2 人	
80	点	~	3 人	
70	点	~	1人	
60	点	~	0 人	
50	点	~	0 人	

- ・ 全てが刺激的でした。たくさんの人と会い、私の知らない世界を知ることができた「人」と のつながりが大切だなと改めて感じた。(40 代・女性)
- ・ 同じグループの方と町内会活動などの内容、課題が伺えたことが良かった。4 人中 2 人の地域で会館等(地域拠点)がないことを知り、驚いた。若い方が参画する自治会は活気、アイディアが出ることを知った。地域の若いパパを出すために、モチつき大会を実施したと聞いた。良いアイディアと思った。 (50 代・男性)
- ・ 地域の方々の思いを知る機会となり、心あたたまりました。友人に誘われての参加でしたので、思いのほか多年代の方々の意見が聞けて有難い時間でした。 (40代・女性)

# 第2講 課外授業 part1 ちょっと先を行く、身近な先輩から学ぶ

日時: 2019年10月6日(日) 9:30~16:00

訪問先: 東神奈川公園を利用した地域交流(東部御殿町自治会)

カフェ3110/(斎藤分町北部自治会)

六角橋地域ケアプラザ

さくらサロンみやむかい(宮向自治会)

【参加者:総勢22名】

受講生17名

事務局5名(区職員4名・セクター1名)

#### ねらい:

- · 卒業生のほか、区内の身近な取組を訪問し、取組のアイディアや手法等について学ぶ。
- ・ 受講生と卒業生のつながりをつくる。

#### プログラム:

- 9:30~ 神奈川区役所 集合・出発
- 東部御殿町自治会 東神奈川公園を利用した地域交流
- 9:45~ 活動紹介・見学@東神奈川公園
- 斎藤分町北部自治会 カフェ3110
- 10:45~ 活動紹介
- 六角橋地域ケアプラザ
- 11:45~ 六角橋地域ケアプラザ 事業紹介
- 12:15~ 昼食
- 宮向自治会 さくらサロンみやむかい
- 13:30~ 活動見学
- 14:00~ 活動紹介
- 15:30 神奈川区役所 解散

2講では、神奈川区内で取り組まれている地域の活動を訪ねる現場訪問。活動の現場や様子を見て、 日頃の雰囲気を感じながら各関係者からのお話を聞きました。

#### 東神奈川公園を利用した地域交流(東部御殿町自治会)

自治会館がないため、公園での清掃活動を 行うことで、地域の人たちの集まる機会を作 り出しています。費用をかけずに、子どもか ら大人まで楽しんで参加できるイベントづく りの工夫などを学びました。



#### カフェ3110/(斎藤分町北部自治会)

コーヒーボランティアの講座で学んだメン バーがいたことをきっかけに、月に一度、自 治会館の空き時間を活用して開催されている カフェ。

実際にコーヒーをいただき日頃のサロンの雰囲気を感じながら、地域の方たちにとって交流の場・居場所になっている取組みやその運営についてお話を聞きました。



#### 六角橋地域ケアプラザ

地域交流コーディネーターから、地域や大学との関わりを交えながら、ケアプラザの機能について説明いただきました。とくに、地域カフェについては、立上げ・運営のサポートのほか、地元企業による協力のもと、カフェマップを作成して、広報を行っていることなどの取組みが紹介されました。



団地の集会所で、毎月2回、開催されているサロン。当日は、マジックショーを見学と併せて、岐部会長から日頃の取組みについてお話を聞きました。サロンを企画・運営するにあたって、楽しいことを大事にされ、「参加する側にたって工夫を考える」「自分自身も楽しむ」という考え方は、受講生にとっても印象に残りました。



## <学びのまとめ・アンケートから>

内容に対する点数

**平均91.9点**(17名中10名回答)

100	点	~	3 人	
90	点	~	4 人	
80	点	~	3 人	
70	点	~	0 人	
60	点	~	0 人	
50	点	~	0 人	

- ・ 地域交流の場としての活用方法や、サロンの立上げから運営までの流れ、目で見て、聞いて、 感じて、とても勉強になり、少しイメージができたかなぁと思います。また、宮向自治会の 岐部会長さんのお話はとても理解でき、すてきなお話が聞けたと思います。とても参考にな りました。(40 代・女性)
- ・ 地域ケアプラザの活用方法、社会福祉協議会の利用方法、羽沢地区のまちの在り方などを実践的に教えていただき、現在やっている町内会の活動に非常に参考になりました。また、懇親会では、受講者の皆様、事務方の皆様とも距離を縮めることができてよかったです。(40代・男性)
- ・ どの取り組みも無理をし過ぎないで、自分が続けられるようなペースで取り組んでいること が印象に残った。(20代・男性)

# 第3講 課外授業 part2 訪ねて発見!目からウロコの個別見学

日時: 2019年11月 9日(土) 13:00~16:00

訪問団体:北山田町内会(都筑区)

2019年11月23日(土) 14:00~16:30

訪問団体:カフェ ハートフルポート(旭区)

2019年11月24日(日) 10:00~12:30

訪問団体:グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ自治会(戸塚区)

2019年11月30日(土) 10:00~12:30

訪問団体: NPO 法人おもいやりカンパニー(南区)

【参加者:総勢 延31名】

受講生 延22名(卒業生・複数個所の参加者を含む)

事務局 延9名(区職員延5名・セクター延4名)

#### ねらい:

· 区外の事例を見学し、理解を深め、夢プラン作成のヒントを得る。

#### プログラム:

第3講では、4つの事例(訪問先)からの選択希望制による現地見学を実施しました。4~6名 程度の少人数で自ら団体を訪ね、取組みの話を聞くことで、自身が関心のあるテーマや取組みについて深く学びました。

#### 「多世代循環で豊かな町内会に」 訪問団体:北山田町内会(都筑区)

副会長を7名体制にして、役割を分担することで、若い世代も積極的に関わっている北山田町内会。ボランティア組織「キタボラ」を立ち上げ、保護者等が参加しやすいよう登録制のメール配信を導入したり、学校部活動との連携による中学生世代の参加など、多世代が参加しやすい工夫につい



て聞かせていただきました。 (訪問場所:北山田町内会館)

#### 「やりたいことが地域の課題解決へ」 訪問団体:カフェ ハートフルポート(旭区)

一戸建てを改装した住み開きによるコミュニティカフェ。ランチ提供のほか、ミニコンサートなど、地域の人たちの得意や興味を活かした自主企画を拠点で展開することで、多くの人たちが集う場になっています。活動を始めるにあたって、自分のやりたいことと、持っているものを洗い出しながら考える方法は、夢プランづくりにも参考になりました。



(訪問場所:カフェハートフルポート)

# 「シンプルで実践的な防災組織の取組」 訪問団体:グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ自治会(戸塚区)

マンション自治会の事例における防災・減災の工夫として、「自助」を基本に、いかなるメンバーであっても実行できることに絞った取組みは、自治会として災害時に何をすべきかを考えるうえで参考になり、実際に、東日本大震災の際はどうであったのかを現場を見ながら知ることができました。



(訪問場所:グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ 集会スペース)

#### 「空き家を拠点にした地域の取組」訪問団体:NPO 法人おもいやりカンパニー(南区)

坂が多く、生活に不便な地域で、子育て中のママさんグループが始めたマルシェから展開し、改装した空き家を拠点に活動している事例。地域で、新たな取組みを始めていくにあたっての、自治会の方たちとの関わり方などについて話を聞きました。

(訪問場所:おもいやりハウス 崖の下のたい)



#### <学びのまとめ・アンケートから>

#### 内容に対する点数

北山田町内会(6名回答)・・・平均93.3点

100	点	~	3 人	
90	点	~	1人	
80	点	~	2 人	
70	点	~	0 人	
60	点	~	0 人	
50	点	~	0 人	

- ・ 世代交代が現在うまくいって、活動を支えている年齢の方々が町内会、各学校とのネットワークのパイプ役になっていることが機能の活力になっていると思います。 (60代・男性)
- ・ 成功の秘訣がよくわかった。神奈川区の「地域づくり大学校」らしいものが1年、一般的な 勉強になり、2年目は、具体的にやりたいことをサポートしてもらっている良い事例だと思う (70代・女性)

ハートフルポート (6名回答)・・・平均 97.5点

100	点	~	4 人	
90	点	~	2 人	
80	点	~	0 人	
70	点	~	0 人	
60	点	~	0 人	
50	点	~	0人	

・ 目からウロコ。ご自宅でスタッフの皆さんと希望と夢にあふれ、お話にどんどん吸い込まれてしまいました。今、現在、人とのつながりが少ない中、わが大きく拡大していること。 イベントもこちらが企画するのではなく、特技を活かして活躍してもらう場にしていることなど驚きでした。 (60代・女性)

#### <学びのまとめ・アンケートから>

#### 内容に対する点数

グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ自治会(4名回答)・・・平均96.3点

100	点	~	2 人
90	点	~	2 人
80	点	~	0 人
70	点	~	0 人
60	点	~	0 人
50	点	~	0 人

- ・ 311地震の前から防災組織がつくられて、地震時には、2人で実践された。普段の11名の 委員の活動で共有できていたことが素晴らしい。 (60代・男性)
- ・ 炊き出しなどできないことをはっきり明言していること、各戸での備蓄の大事さを伝えていることが素晴らしい。 (60代・女性)
- ・ 繰り返し「しないこと」を周知することが自助につながる。(60代・男性)

NPO 法人おもいやりカンパニー (5 名回答)・・・平均 96.2 点

100	点	~	1人
90	点	~	4 人
80	点	~	0 人
70	点	~	0 人
60	点	~	0 人
50	点	~	0 人

#### 第4講 ムリなく楽しく始める第一歩~地域づくり5つの手順~

日時: 2019年12月7日(土)9:30~12:30

場所: 神奈川区役所 地下1階機能訓練室・研究室

講師: 吉原 明香 (認定 NPO 法人市民セクターよこはま事務局長)

【参加者:総勢20名】

受講生14名(卒業生含む)

事務局6名(区職員4名・セクター2名)

#### ねらい:

・ 第3講の振り返りを行い、各事例の学びを共有する。

- ・ 地域づくりの5つのステップを学ぶ。
- ・ 各受講生に対し事務局職員がメンターを担当し(職員一人につき、受講生4人程度)、現在の思いや課題についてヒアリングを行い、卒業までのサポートを行う。
- これまで学んだことを活かしながら、夢プラン作成にとりかかる。

#### プログラム:

- 9:30- はじめに
- 9:35- 第3講のふりかえり・共有
- 10:00- 講義 「地域づくり5つのステップ&夢プランシートの作成について」 講師・進行: 吉原 明香
- 10:25- 個人ワーク: 夢プランづくりはじめの一歩 [書いてみよう!編]
- 10:45- 休憩
- 10:55- グループワーク:夢プランづくりはじめの一歩[プラン共有編]※同時進行で、受講生と事務局との面談を実施し、プランのアイディアについて 共有・ディスカッション
- 12:10- 支援制度に関する情報提供
- 12:20- アンケート記入・事務連絡
- 12:30- 終了

第4講では、はじめに、第3講で個別に訪問した各団体による取組みについて、写真を交えながら事務局から共有しました。受講生からは、選択した以外の訪問先の取組みについても質問があるなど、関心の高さが伺えました。

続いての講義では、冊子「地域づくりの知恵袋」から「地域づくりの5つのステップ」に沿って、 地域の中で活動を進めていくうえでのプロセスやポイントについて学び、それを踏まえて、夢プラ ンシートの作成にトライしました。

グループワークでは、作成した夢プランをグループ内で発表し、プランの内容をさらに形にしていくとともに、他の人の関心ごとや地域の課題についても考え合う時間となりました。







#### <学びのまとめ・アンケートから>

#### 内容に対する点数

**平均91.6点**(14名中13名回答)

100	点	~	5 人		
90	点	~	5 人		
80	点	~	2 人		
70	点	~	0 人		
60	点	~	1人		
50	点	~	0人		

- ・ 同じ思いの方の話を知ることが出来た。今まで見守っていてくれていたであろう立場の方の存在 (町の方々のお仕事) に気づけた。
- ・ グループで話し合う時間や面談の時間があり良かった。第3講の振り返りについては、もっと それぞれの話を聴きたかった。グループワークでは、自分の考えを言葉にし、それに対して、 客観的な意見を得ることができた。個別面談では、今後、具体的に夢プランを作っていくため に必要な取っ掛かりを得られた気がする。 (20代・女性)

#### 第5講 自分の思いをデザインする~地域に夢を描こう~

日時: 2020年1月19日(日)9:30~12:30

場所: 神奈川区役所 地下1階機能訓練室・研究室

講師: 山路 清貴 さん (横浜市まちづくりコーディネーター)

【参加者:総勢21名】

受講生15名(卒業生含む)

事務局6名(区職員4名・セクター2名)

#### ねらい:

· 講師による個別アドバイスと受講生同士の意見交換を通じて、夢プランを作成する。

#### プログラム:

9:30- はじめに(本日のプログラム、卒業生の紹介、アイスブレイク)

9:35- 講義「良い企画づくりのポイント」

講師:山路 清貴 さん

9:50- 説明: 夢プラン作成ワーク・個別質問タイムの進行について

進行:関尾 潤 (認定NPO法人市民セクターよこはま)

9:55- グループワーク (夢プラン作成ワーク)・グループ別相談タイム・清書タイム

12:10- 講師の山路さんより総括的アドバイス

12:17- アンケート記入・事務連絡

12:30- 終了

第4講で作成に取り組み始めた夢プランを、さらに完成に近づけていくことをねらいとした第5講。講師の山路さんから、はじめに企画づくりのポイントを示していただいてから、プラン作成に 取組みました。

#### 良い企画づくりのポイント 講師:山路さんの資料より

- 1. まず、自分がやってみたいか。
- 2. 目にした人が、やってみたい/やってほしいと思ってくれるか。
- 3. 自分の言葉(市民の言葉)で記されているか
- 4. 言いたいこと(結論)から記しているか。
- 5. 一番書きたい所から書く。
- 6. まず3人の仲間からやれることであるか。
- 7. 現場がイメージできるか。
- 8. 地域の宝が真ん中に置かれているか。
- 9. たくさん突っ込まれた企画は先(見込み)があると思うべし。
- 10. まわりの人が、色々と尾ヒレをつけて盛り上がった企画は良いところを持っている証拠。その部分を大切にすべし。

プラン作成は、内容やテーマが近い受講生同士が同じグループとなり、受講生同士による意見・アイディア交換を行い、プラン内容をブラッシュアップしていきました。並行して、山路さんとの個別相談では、講師の方が持っている幅広い事例に関する情報・ネットワークの中から、様々なアイディアや視点、ヒントをいただき、受講生にとってとても満足度の高い内容となりました。

#### <学びのまとめ・アンケートから>

#### 内容に対する点数

#### **平均 98.7** 点(1 5名中1 5名回答)

100	点	~	9 人	
90	点	~	3 人	
80	点	~	3 人	
70	点	~	0 人	
60	点	~	0 人	
50	点	~	0 人	

- ・ 自分の課題に対しての意見、知識をもらえたのはもちろん、グループの中でも気づかされる点、「深い」と思った点があり、非常に満足でした。自分の考えた夢プランシートが、まだ小さく、もっと大胆に書いてみてもよかった。子どもは室内だけでは遊びとして完結しない。考えていたのは、室内だけだったので反省。防災マップは「危険」をさらに危険にさせてしまう、というのは盲点でした。(20代・男性)
- ・ グループの方々のアドバイス、山路先生のアドバイスによって、一人よがりの思いに気づかされた。山路先生のお言葉で、「小さな覚悟」がとても印象的でした。これは生き方全てに大切なことだと思う。 (60代・女性)
- ・ 疲れた!でも楽しかった!これが開口一番。沢山意見をいただき、次につながる'きっかけ'を いただいた。 (40代・女性)
- ・ ディスカッションの時間が足りないと感じるほど充実したものだった。なぜ、若者を地域活動に参加して欲しいのかということについて考えてみる(ことが必要)情報を提供する媒介について「これ読まないと損するな」と思わせる(工夫が必要)、学生ボランティアに対する自治会の思い(が分かった)。(20代・女性)

#### 第6講 地域にはばたく夢プラン発表会~つながり、広がる地域の輪~

日時: 2020年2月29日(土)9:30~12:30

場所: 神奈川区役所 5 階大会議室

講師: 山路 清貴 さん (横浜市まちづくりコーディネーター)

【参加者:総勢25名】

受講生17名

事務局8名(連合町内会1名・区職員5名・セクター2名)

#### プログラム:

9:30- 第1部: 卒業式

修了証・皆勤賞授与

地域づくり大学校校長 挨拶・・佐藤 潮(神奈川区連合町内会自治会連絡協議会会長)

区長より祝辞・・高田 靖(神奈川区長)

第5期卒業生代表 挨拶・・森本 佳世 さん

おわりに・・・吉原 明香 (認定 NPO 法人市民セクターよこはま 理事・事務局長)

10:30- 閉会 ※閉会後、同会場にて写真撮影を開催



#### <学びのまとめ・アンケートから>

第5期地域づくり大学校に対する点数

**平均 91.7 点** (1 7名中1 2名回答)

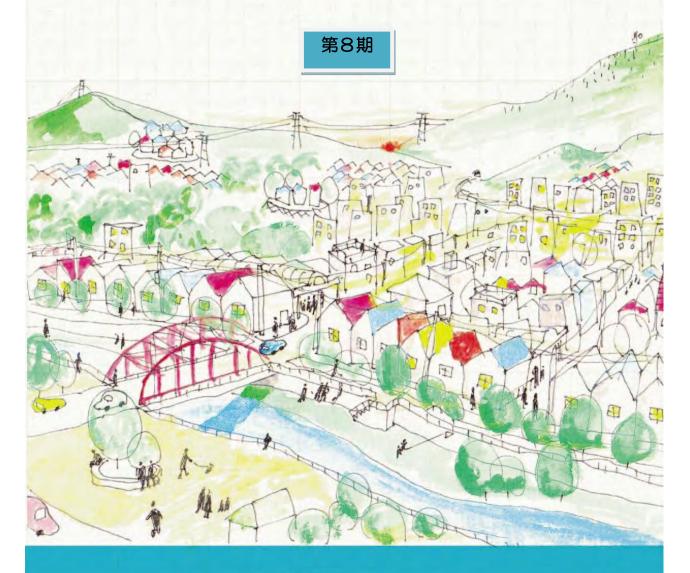
100	点	~	6 人	
90	点	~	2 人	
80	点	~	4 人	
70	点	~	0 人	
60	点	~	0 人	
50	点	~	0 人	

- ・ 第3講で見学したカフェハートフルポートで自分が楽しみながら活動したり、持ち込み企画 のイベント主催者の主体性を重視しているところなど、とても参考になり、自分がやりたい ことのイメージができました。 (40代・女性)
- ・ 第3講で課外授業で北山田町内会の訪問がまさに目からウロコでよかったです。すまいの自 治会が通常のものと思っていましたので、住民の意識の持ち方で、様々な方向性を見つける ことができると認識しました。 (60代・女性)
- ・ 焦りがあったのですが、一人一人のお話を伺う中で、焦っていても「仕方がない」ということと、やはりみんなの中にも第1歩があったということ。仲間づくりの'仲間'がいないと真正面あら向き合ったことで、'出会い'があり、自分の弱さを恥ずかしがらずに伝えていくことは、何も間違っていないのだと良い意味で開き直れたこと(が良かった)。(40代・女性)
- ・ 各世代から目的の異なる方々と接することで、自分自身の士気が高められた。見学は防災活動のみであったが、具体的な成果という点で、各種セミナーで得る知識以上に有益なものが多かった。卒業生との交流から、成功体験を知ることができた。 (60代・男性)

# 泉区

# まちづくりみらい塾

水と緑の豊かな泉区のまちを、もっと住みやすくするために





主催団体(三者保働運営)

泉区まちづくりみらい塾/泉区区政推進課 認定NPO法人市民セクターよこはま

#### 1)事業報告

■現場体験の実施などの現場性を重視した講座内容

自分の住む地域の困りごとを「何とかしたい!」と思っている方(自治会・町内会の役員、地域活動の担い手、地域活動に興味関心のある方)のための半年間の研修プログラムである本事業は、今年が8年目となります。泉区まちづくりみらい塾は、地域課題に取り組んでいる自治会・町内会の事例見学や講座・グループワークを通して学び合い、地域のさまざまな問題を協力し合いながら解決していく「自治の力」を身につけるためのカリキュラムを実施しました。

■実施期間 令和元年9月7日(土)~ 令和2年3月31日(火)

#### ■対象者

- **1**これから地域活動をしてみようと考えている方
- ②自治会町内会の役員、地域活動の担い手、NPO、 地域ボランティア、地元の企業の方
- ③泉区在住・在勤の方 ※退職された方、子育て中の方大歓迎
- ■広報と受講生の決定 定員 15 名のところに 15 名の応募がありました。

### ■講義の実施

入学式・卒業式を含めて、講座を6回実施しました。本講座のうち、3回は現地見学会を行ないました。

開催日時	内容
9月7日(土) 14:00~17:00	第1講:開講式・オリエンテーション <ul> <li>開校式</li> <li>講演「自分らしい場づくりとは」</li> <li>講師:長田英史氏(NPO法人れんげ舎代表理事)</li> <li>グループ面談</li> </ul>
10月19日(土) 10:30~17:00	第2講:「多世代循環で豊かな町内会に」現地見学ツアー  事例紹介:本間氏、志村氏(都筑区北山田町内会)  づループワーク
(1)11月10日(日) 9:15~15:00 (2)11月13日(水) 9:00~14:00 (3)11月17日(土) 9:30~13:30	第3講:【実習】現地見学会(区外) (1)【泉区中田】『宮ノ前テラス』 事例紹介: NPO法人宮ノマエストロ 高橋 氏 (2)【南区】『おもいやり隊』 事例紹介: NPO法人おもいやりカンパニー 津ノ井氏 (3)【神奈川区】『大丸町内会』 事例紹介: 大丸町内会会長 松島氏
(1) 11月15日(金) 16:00~18:30 (2) 11月26日(火) 9:15~11:30 (3) 11月27日(水) 9:25~12:00 (4) 12月4日(水) 9:25~12:00	第4講:現地見学会(区内) (1) 新橋連合自治会館(しんばし食堂) 事例紹介:新橋地区社会福祉協議会会長 船越氏 (2) 里山夢プロジェクト 事例紹介:中川地区社会福祉協議会会長 石田氏 (3) 上飯田暖地コミュニティカフェ 事例紹介:上飯田暖地コミュニティカフェ関係者 (4) ぽかぽかマート、ぽかぽかサロン取組見学 事例紹介:ぽかぽかマート関係者
12月7日(土) 14:00~17:00 場所:泉区役所4階 ABC会議室	<ul><li>第5講:私のまちの「チャレンジプラン」作成</li><li>■ 現地見学会のまとめワークと報告会</li><li>■ 私のまちの『チャレンジプラン』を描く</li><li>■ 個人面談</li></ul>
2月1日(土) 14:00~17:00 場所:宮ノ前テラス	<ul><li>第6講:卒業式・マイプラン発表・卒業記念懇親会</li><li>■ チャレンジプラン発表 □ メンテーター:内海宏氏</li><li>■ 卒業式・懇親会</li></ul>

#### ■プログラムの開発

泉区まちづくりみらい塾・泉区区政推進課及び市民セクターよこはまが事業に関する意見交換、会場・備品利用、広報、事務スペース提供、運営などにおいて協力・連携を行いました。

#### 泉区まちづくりみらい塾

〈塾長〉佐久間 幹雄〈事務長〉長谷川 幹夫〈事務次長〉黒澤 彦章 〈顧問〉日並 勇 小泉 正彦 馬場 勝己 大貫 芳夫 〈相談役〉内海 宏

#### 認定 NPO 法人市民セクターよこはま

認定 NPO 法人市民セクターよこはま (理事長) 中野 しずよ 吉原 明香 薄井 智洋

#### 泉区

泉区 (区長)額田 樹子 (副区長)鳥海 仁 (地域力推進担当課長)粟竹 史明 (地域力推進担当係長)田嶋 淳一 (地域力推進担当)渡部 祐太



写真:卒業式後、宮ノ前テラスにで撮影

FO TO THE OP SE

#### 2) 講義の実施

開校式・卒業式を含めて、講座を6回実施しました。

#### 第1講 9月7日(土)

開講式・オリエンテーション・講義 「自分らしい場づくりとは」

■講師:長田 英史氏(NPO法人れんげ舎代表理事)

吉原 明香(認定 NPO 法人市民セクターよこはま事務局長)

■場所:泉区役所 4FABC会議室

#### ■次第

\_\_\_\_\_

#### 第1部

 【司会:長谷川幹夫】

【講師:長田英史 氏】

協働三者挨拶(佐久間幹雄、中野しずよ、額田樹子)

• 来賓挨拶

【泉区連合自治会町内会長会 会長】 馬場 勝己 様

【泉区社会福祉協議会 会長】 大貫 芳夫 様

#### 第2部

14:20-14:35 オリエンテーション・自己紹介

14:35-14:50 「地域づくりの5つの手順」を聴き、

地域づくりの流れを学ぶ 【講師:吉原明香】

14:50-15:00 休憩

15:00-16:20 講演「自分らしい場づくりとは」

16:20-16:50 グループ面談

16:50-17:00 第2講・第3講・学びのまとめ説明

17:00 終了

-----



佐久間塾長よりご挨拶



【来賓挨拶】泉区連合自治会町内会長会 馬場会長

今年度の泉区まちづくりみらい塾では、多世代がイキイキと活動できる環境づくりを実施している 事例を「現場」で学び、地域活動実践者とこれから地域に関わりたいと考えている方が共にアイデア を出し合い、学び合う半年となります。 第 1 部は開校式・オリエンテーション。開校式が始まる前に、アイスブレイクで自己紹介を入れることで、どのような方が参加されているか、参加した目的を知ることができ、会場全体があたたかな雰囲気となりました。開校式では佐久間塾長のご挨拶、またご来賓の馬場様からの激励を受け、いよいよ始まるという良い緊張感となり、第 2 部の講演へ移りました。

第2部では、講義「地域づくりの5つの手順」を聞き、地域づくりをする際に必要な5つの要素 について事例を交えながら学びました。

講演「自分らしい場づくりとは」では、NPO 法人れんげ舎の長田様より、場づくりに欠かせない心の持ち方、チームで場を運営する際の注意点等、これから自分が実現したいプランは、どのような現場で学べるのか、イメージしやすい構成でお話いただきました。

講義・講演後は、受講生4人1グループになり、面談を行いました。

どのようなことを地域で実現したいのか、事前に知ることにより、第2講・第3講・第4講の現地 見学会のプログラムに活かせるよう、1人1人お話を伺いました。



地域づくりの5つの手順を解説



長田氏による講演「自分らしい場づくりとは」



グループ面談後、次回から始まる現地見学会を聞く受講生

#### 【受講生の声】

- ・一人で出来ることは少ない、地域の課題を解決するために、3~4人で始めていく。そんな時に、長田先生の場づくりの基本を押さえておけば、チームで動くときに気を付けなければならない事、また本当のことを言い合えるような場づくり、意識していきたいと思いました。
- 第 1 講はしっかり講座を聞いて、自分のやりたいことを再確認できました。次回以降現地見学会が多く、とても楽しみです。
- まだ具体的なプランは考えていませんでしたが、良い学びがあったので、じっくり検討します。

#### 第2講 10月19日(土)

#### 現地見学ツアー

#### 「多世代循環で豊かな町内会に」

概要

日時 : 2019年10月19日(土) 10:30 ~ 17:00 場所 : 集合場所(時間) : 泉区役所1F(10:15~受付)

#### 次第

10:15~ 10:30~	受付開始(お手洗いのご案内) 最終点呼後、バスで移動(北山田町内会館へ)
11:00~	バス内で本日の流れを説明・Eバスの歴史
12:00~	到着→雨天時は北山田町内会館にて昼食
	昼食後、第4講のお知らせ
13:15~	事例紹介 インタビュアー:吉原明香
	•本間彰 様(都筑区北山田町内会会長)
	• 志村友規子 様(都筑区北山田町内会副会長)
	•田村孝男 様(都筑区北山田町内会前会長•相談役)
14:30~	グループワーク①(質問したいことをグループ内で話し合う)
15:00~	休憩
15:15~	グループワーク②
	多世代をテーマに、グループ内で「地域づくりの極意」を話し合う
15:55	事務局連絡
16:00	バスで移動(泉区役所へ)
17:00	終了

第2講は北山田町内会の取組を現地で伺う機会として、バスツアーを実施いたしました。 若い世代が活躍する北山田町内会の取組を伺い、次の担い手づくりのヒントを得る機会、また自 分自身のプランのヒントを得られるような場にすべく、講演とグループワークを組み合わせてス ケジュールを組み立てました。







山田富士にて記念撮影

マイクロバスにて都筑区へ移動後、北山田町内会が活動する地域を実際に歩いてみました。 買い物をする場も多く、公園に囲まれた北山田地区。「住んでみたいまちとして上位に選べれる理由がわかる」と、受講生からも声が上がっていました。 地域のシンボルにもなっている山田富士にのぼり、 昼食後に事例を学ぶ時間となりました。

昼食をとりながら、参加者同士の懇親を深めるべく、台風時の対応について共有しました。戸建てで被害があったり、川の増水、崖が崩れそうになっている場所があり、自治会内で呼びかけを行った等、災害時の取組みをテーマに交流しました。

昼食後は、北山田町内会の事例を、本間彰様(都筑区北山田町内会会長)、志村友規子様(都筑区北山田町内会副会長)、田村孝男様(都筑区北山田町内会前会長・相談役)にお話しいただきました。若い世代が地域活動に取り組めるように、工夫していること、苦労していることをお話いただき、その後グループワークで、担い手への声のかけ方、工夫の仕方を議論しました。



到着後、昼食をとりながら歓談



事例紹介:北山田町内会の取組み



質疑応答を交えたディスカッション、グループワーク

質疑応答の時間では、苦労していること、若手の方に対してどのような配慮が必要か等、具体的な 内容が多くありました。

#### 【受講生の声】

- ・お祭りのお手伝いを、中学生にお願いすることで、まち全体が活気づいている。 そして中学生にとっても居場所になっている事例はとても参考になりました。
- ・無くなりそうだった子ども会が見事に復活した事例、全国的なモデルになると感じました。
- 会長、副会長が現役の方で驚きました。実践されているという事が現場に来たことでより伝わり、 また私たちを丁重におもてなし頂き感動しました。そういう部分も見習いたいと思いました。
- ・若い方も多く住む地域ならではの事例かと思いましたが、まちづくりのステップがあり、シニアの 世代の方々が見守っている雰囲気が素晴らしかったです。
- ・元会長の方の言葉が忘れられません。まさに相談役として残っていることで、目の上のたんこぶでなく、上の世代との橋渡し役になっておられる姿が印象的で、北山田町内会がうまくいっている理由なのかもしれません。

.

#### 第3 講 11月10日(日) 現地見学実習「宮ノ前テラス」

#### 「すべての世代の人が穏やかにつながり、困ったときには支え合う居場所づくり」

概要

日時 : 2019年11月10日(日) 9:15~15:00

場所 : 宮ノ前テラス(泉区中田)

次第

9:15~ 受付•移動

9:30~ 宮ノ前テラス到着後、施設のご紹介

事例紹介: NPO法人宮ノマエストロ 高橋裕子 氏

「赤ちゃんから高齢者、障がいがある人など、みんなが支えあい交流できる場を作りたい」という想いが始まり。宮ノ前公園のすぐ隣に位置した館内は、

誰もが利用しやすい雰囲気作りに力を入れえている。

9:45~ イベント参加(エンジョイエイジング)

※調理班と、イベント班に分かれて参加(途中で交代)

12:30~ 配膳・昼食(晴れたらテラスで昼食)

※配膳のお手伝い体験

13:30~ 宮ノ前公園で行われている「オレンジフェス」参加・体験

14:25~ 学びの共有・質疑応答 @カフェスペース

14:55~ 事務局連絡

15:00 終了

泉区中田にあるコミュニティカフェ「宮ノ前テラス」にて、ボランティア体験を行いました。 実際にランチまでの準備を体験し、隣の公園に来られている方への声掛けや、掲示づくり、 調理準備、掃除、配膳まで行いました。地域に根付くコミュニティカフェの場づくりを、実習 を通して学ぶことができました。







代表の高橋さんより、宮ノ前テラス開設の経緯を伺った後、ボランティア体験。 その後、現地を見学した際に確認したいポイントを事前に配布した「マトリックスシート」に 記入し、意見交換の時間を持ちました。

#### 【受講生の声】

- ・ボランティア体験は初めてで、新鮮でした。定年を迎えて、みらい塾へ参加しなかったら出会わなかった場でしたが、コミュニティカフェという地域に根差した取組みは、素晴らしいですね。
- ・掃除から掲示づくり、そして配膳までやることで、お店の雰囲気をじっくり味わうことができました。ランチもいただき、「また来よう」と思えたのが良かったです。
- 利用されている方とお話しでき、宮ノ前テラスの役割を理解できました。ランチがあることで、訪れるきっかけを作りやすいところがポイントだと感じます。

#### 第3 講 11月13日(水) 現地見学実習「おもいやり隊」

「地域の高齢者の見守り活動をしたい」「小・中学生に放課後の居場所を」思いを実現するために始まった活動

概要

日時 : 2019年11月13日(水) 9:30~14:00

場所 : おもいやりハウス(南区)

次第

\_\_\_\_

9:30~ 受付•移動

9:45~ おもいやりハウス到着後、施設のご紹介

事例紹介:NPO法人おもいやりカンパニー 津ノ井美晴氏 「買い物支援活動で地域課題に取り組む子育てママの挑戦!

空き家をリノベーションして子どもからお年寄りまで誰もが笑顔に

なる駄菓子屋×多世代交流拠点」

10:00~ A 班:買い物代行(生活支援体制整備事業)の見学

B班:おもいやりハウス内の見学

11:00~ 津ノ井さんより、事業のご紹介(成り立ちから現在)

12:00~ 昼食(2F座敷にて昼食)

13:00~ 学びの整理(マトリックスシート使用)

13:55~ 事務局連絡

14:00 終了

\_\_\_\_\_

まち普請事業で空き家を整備し、開設したばかりの拠点「おもいやりハウス」を見学、また買い 物支援の体験をしました。







NPO法人おもいやりカンパニー代表の津ノ井美晴氏より、おもいやりハウスの開設経緯と活動を紹介いただきました。その後は「買い物支援」を体験し、事業について深く知る機会をつくりました。

実際におもいやりハウスで提供しているランチを注文し、見学して気付いたことを共有し合いながらマトリックスシートを埋めていきました。

#### 【受講生の声】

- ・若いお母さん方がここまで頑張るとは、驚きました。近所のケアプラザとの連携も大切で、子どもからシニアまで、見守り合いのまちを作ろうとされている。拠点の良さと大変さ両方を学べました。
- 私の娘と同年代の皆様が奮闘されている姿に感動しました。私も川崎でコミュニティカフェを運営していた経験がありますが、若いお母さんが頑張っている事例は初めてです。
- ・昔、この地域に住んでいたことがあり、高齢化が進んでいることが気になっていました。今回のような事例は、働きながら地域を良くするという循環型で、私も仕事を通じてお手伝い出来ないか考えようと思います。

#### 第3講 11月17日(日) 現地見学会「大丸町内会」

#### 働き世代も活動できる町内会運営を目指して

概要

日時 : 2019年11月17日(日) 9:30~13:30

場所 : 大丸町内会活動場所、片倉三枚地域ケアプラザ(地域ケアルーム)

#### 次第

9:15~ 受付開始 9:30~ 最終点呼後、徒歩で移動(まち歩き→昼食購入) 10:15~ 片倉三枚地域ケアプラザ(地域ケアルーム) 10:30~ 事例紹介(おとなり場について、防災への取り組み) 講師:松島宗 様 質疑応答(1人1問) 11:15~ 11:45~ 昼食 事例紹介(働きながら活動できる組織づくり) 12:30~ 講師:松島宗 様

13:00~ マトリックスシート記入

13:25 事務局連絡

13:30 終了

災害に強いまちをつくるために、おとなり場システムの導入・実践について、また防災への取り 組みを大丸町内会の皆様にまちを歩きながら紹介していただきました。







大丸町内会会長の松島氏より、日ごろの防災への取り組みについて説明頂き、実際にまちを歩きな がら、メンバーそれぞれ担当している活動についてご説明いただきました。 現地見学後、片倉三枚地域ケアプラザにて松島氏より事例紹介、また質疑応答を行い、マトリックス

#### 【受講生の声】

シートを記入しました。

- •「おとなり場システム」の仕組み、大変参考になりました。地域で実践できるよう、引き続き相談さ せていただけることになりました。大丸町内会の皆様に感謝します。
- ・自宅の庭にアンテナを設置してしまうほど、熱心な方がいるとまちに活気が出ますね。 自分が夢中になれることを活かすことが何より大事だと実感しました。
- 私はPCの修繕が得意なのですが、得意を地域に活かすことで、ここまで地域のためになるという 事例を知れて良かったです。

#### 第4 講 11 月 15 日(金) 現地見学 「しんばし食堂」

#### 「地域一丸となって、こどもたちが安心して過ごせる居場所をつくる」

概要

日時 : 2019年11月15日(金) 16:00~18:30

場所 : 新橋連合自治会館(しんばし食堂)

次第

16:00~ 受付•移動

16:30~ しんばし食堂到着、施設のご紹介

事例紹介:新橋地区社会福祉協議会会長 船越 氏

17:15~ 取り組みについて取材・質問 18:15~ 学びのまとめ・事務局連絡

18:30 終了

------

第4 講は区内の事例4か所から、受講生自ら見学先を選択して、少人数で現場を訪れました。 しんばし食堂は、様々な事情で、一人で食事をするこどもたちや高齢者の方々を対象に、「夕食をみんな で一緒に食べよう」「夕方に一人で過ごすこどもたちが、安心して過ごせる場所をつくりたい」そんな地 域住民の想いからスタートしました。新橋地区社会福祉協議会会長の船越氏に、開設から運営のことま で、お話を伺いました。

#### 【受講生の声】

•「子ども食堂」というキーワードは、メディアを通じて聞いたことがありましたが、今回初めて現場を訪れました。子ども達だけでなく、ご高齢の方も多かったのが印象的で、地区社協と自治会との連携について船越さんからお伺いし、コミュニティの強さを実感できる見学会となりました。

#### 第4講 11月26日(火)

現地見学会 「里山夢プロジェクト」

#### 畑をみんなの居場所に

概要

日時 : 2019年11月26日(火) 9:15~11:30

場所 : 里山夢プロジェクト活動場所

次第

\_\_\_\_\_\_

9:15~ 受付•移動

9:30~ 里山夢プロジェクト到着

事例紹介:中川地区社会福祉協議会会長 石田 氏

『地域でイベントを開催しても、集まる顔ぶれはいつも同じ、新たに参加する方が増えないと、新しい交流が生まれなくなってしまい、地域の活性化が損なわれてしまうのではないか、どんな懸念から農地の多い地域の特性を生かしたプ

ロジェクトを立ち上げました』

10:15~ 実際に取り組みを体験

11:15~ 学びのまとめ・事務局連絡

11:30 終了

\_\_\_\_\_\_

「里山夢プロジェクト」は、農地の多い泉区の特性を生かした野外サロンをつくり、新しいコミュニティを生み出し、地域に参加しやすい雰囲気をつくるためにスタートした取り組みです。当日は中川地区社会福祉協議会会長の石田氏に現場を案内していただきました。







里山夢プロジェクトがスタートするまでの道のりを説明いただきました。

#### 【受講生の声】

- ・土いじりはシニア男性の地域デビューにピッタリだと感じました。 お話するのが苦手な方でも参加できますからね。
- 野外サロンは空き地の利用につながり、防犯にもなる。またコミュニティ形成にもつながる。 泉区も多くの土地が余ってしまっているので、可能性を感じました。参加してよかったです。

#### 第4講 11月27日(水)

現地見学会 「上飯田暖地コミュニティカフェ」

地域で広がるサロン活動~温かく受け止める場をつくる~

概要

日時 : 2019年11月27日(水) 9:25~12:00

場所 : 上飯田団地第1集会所

次第

9:25~ 受付・バスで移動

10:00~ 上飯田団地到着、徒歩でコミュニティカフェ会場へ

【事例紹介】: 上飯田暖地コミュニティカフェ

10:30~ 取り組みについて取材・質問 11:50~ 学びのまとめ・事務局連絡

12:00 終了

上飯田団地地区では、連合や地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員の人たち等が中心となり、「大切にしよう『お元気ですか』声をかけあう関係づくり」を合言葉に見守り活動に取り組んでいます。日頃から気軽に集まれる場をつくろうと、横浜市の「孤立し困難を抱える高齢者等訪問・相談事業」として上飯田地域ケアプラザが委託を受け3年間取り組み、継続を望む声が多いことから、地域で継続して行っています。これまでの取組について、上飯田暖地コミュニティカフェのスタッフの皆様と、上飯田地域ケアプラザの露口様(泉区まちづくりみらい塾7期卒業生)にお話を伺いました。





#### 移動販売車(ぽかぽかマート)を通してつながる地域の輪

概要

日時 : 2019年12月4日(水) 12:20~15:00

場所 : ぽかぽかマート、ぽかぽかサロン取組見学

次第

12:20~ 受付・バスにて移動

12:50~ 泉区下和泉地域ケアプラザ前下車

【事例紹介】ぽかぽかマート

『路線パスの廃止・運行本数の減少で行動範囲が狭まり、日常の買い物先の不便に悩むまち。「足腰が弱って外出もままならないけれど、自分で選んで買いたい」という住民の願い。地域ケアプラザが取組を考えようと呼びかけたところ、その願いに応えようと手を挙げた企業・福祉施殴・住民とがタッグを組み、週1回移動販売車が家の近くまでやってくる「移動スーパー」を実

現することができました。』

13:30~ 取り組みの見学

14:50~ 学びのまとめ・事務局連絡

15:00 終了

\_\_\_\_\_

ぽかぽかマートは、横浜市下和泉地域ケアプラザの生活支援体制整備事業での構想を聞いた近隣の認知 症高齢者グループホームなでしこが系列企業の株式会社アリアへ打診し、数日後になでしこの駐車場にて 試行実施しました。コンパクトなアリアの移動販売車が各拠点を、午後 1 時 30 分から 4 時 30 分ごろまで巡回。生鮮食品から惣菜、生活雑貨まで販売しています。

今回の現地見学会では、グループホームなでしこの駐車場での販売を見学し、移動スーパーの実現までの 道のりを、ぽかぽかマート関係者の皆様にお話を伺いました。

#### 「第3講のまとめワーク」「チャレンジプランの作成に向けた準備」「個人面談」

概要

日時 : 2019年12月7日(土) 14:00~17:00

場所 : 泉区役所4階 ABC 会議室

講師 : 吉原明香 (認定 NPO 法人市民セクターよこはま)

#### 次第

13:45~ 受付 14:00~ 第5講の流れ・まとめワークの説明 14:10~ 第3講のまとめワーク マトリックスシート(模造紙)を使用 14:50~ 学びの共有(1班6分) 15:10~ 休憩 ※4人1班に変更 15:20~ 「チャレンジプラン&トライアルプラン」の作成について 講師:吉原明香 15:40~ プラン作成(個人ワーク) ※15 分で左ページ記入 各班で発表・個人面談 16:00~ (1人3分発表、1人発表後に付箋記入2分、コメント2分) (コメント:①良いね ②ちょこっとアドバイス)

17:00~ 事務連絡 • 閉会

第3講の現地見学会の報告を、班ごとに共有・準備し、マトリックスシートを使用し全体で共有しました。現地見学会で気づいた点を報告し合うことで、更に調べたいポイント、伝えることで気付く重要なポイント、受講生同士が質問し合うことで、更に深い学びにつなげることができました。後半は自分の地域で実行したい取り組みについて「チャレンジプラン」を作り、お互いにアドバイス・意見交換しました。

チャレンジプランの作成では、受講生同士の相互アドバイス・意見交換により、多様な考え方を学びながら実際に活動するための道筋を描くことで、充実したプランがいくつも生まれました。また一人一人個人面談を行うことで、卒業式での発表までの1か月、どのようなプランを完成させるか確認することができました。







#### 【受講生の声】

- ・みなさんのチャレンジを聞いていると、泉区の課題が浮き彫りになり、とても勉強になりました。 たくさんアドバイスもいただき、もっと時間が欲しいくらいです。
- ・みなさんのプランを聞くのが楽しみになりました。みなさんが私のマイプランについて真剣に向き合っていただき、ご助言もいただいたので、卒業式までにより作り込みたいと思います。

#### 第6講 2月1日(土) チャレンジプラン発表・卒業式

概要

日時 : 2020年2月1日(土) 14:00~17:00

場所 : 宮ノ前テラス

コメンテーター : 内海 宏 氏

#### 次第

\_\_\_\_\_

13:15~ 中田駅改札にて受付

13:30~ 会場へ移動

13:45~ 会場(宮ノ前テラス)到着・発表準備 14:00~ 第1部-チャレンジプラン発表・お知らせ

14:10~ チャレンジプラン発表

16:10~ 休憩

16:20~ 第2部-卒業式

16:20-16:30 開会の言葉、修了証授与

16:30-16:35 卒業生代表あいさつ 16:35-16:55 「はなむけの言葉」

16:55-17:00 事務局より・記念撮影

17:00~ 閉会

17:15~ 懇親会(90分)

-----

第6講の会場は、第3講で訪れた「宮ノ前テラス」で行いました。

第5講で作成した「チャレンジプラン」を、まちづくりコーディネーターの内海宏氏他から発表内容や これからの地域づくりについてコメントをいただきつつ、受講生全員でご自身のプランの内容や受講した 感想を共有し合いました。









[総評] 内海宏氏

チャレンジプランの発表を通して、これから活動に取り組んでいこうという意欲を高めることができました。

卒業式後は会場を貸してくださった「宮ノ前テラス」にて懇親会を実施しました。

会場の雰囲気が良く、受講生同士がさらに親睦を深め、泉区まちづくりみらい塾終了後までつながる受講生同士のネットワークを構築することができました。

#### 3)「学びのまとめ」の回収・分析・改善

今年度も「学びのまとめ」を毎回提出してもらいました。1講ずつ受講生の学習状況を把握し、講義に関する意見などを出していただく機会として、「学びのまとめ」は有効と思われますので、来年度も継続したいと考えます。改善点として、学びのまとめを後日提出される方が多く、内容を忘れてしまったという方もいたため、講座終了後に学びのまとめと向き合う時間を確保するなど工夫が必要です。

#### 4)全体を振り返って(事業について)

#### ■効果

#### ・現場に即した学び合い

自治会・町内会、NPO、行政など、多様なメンバーによる人材のネットワークを活かして、テーマ毎に適切な講師をお呼びし、講座・現地見学会を開催する事ができました。

#### ・自ら、まちの課題解決に取り組む

自治の力をつけている地域づくり先進地域へ現地見学会に行くことで、「地域でこれだけのことができる」「自分たちでもできる」という認識を共有することができました。

#### ■良かった点

- •講師や現地見学先、連絡調整など、作業を分担させることで効率よく準備を進める事ができました。
- 講座前にタイムスケジュールや役割分担の確認のための詳細な打ち合わせを行い、全体的な流れの 共通認識、役割認識ができており、そのため当日も状況に合わせて柔軟に対応できました。
- ・第1講にグループ面談、第5講に個人面談を行うことで、まちづくりみらい塾へ参加した動機を事務局が確認し、チャレンジプラン作成時も伴走して相談出来たことで、チャレンジプランの提出率が高く、チャレンジプランの発表や、最終講のアンケートにおいて、自らのまちは自分たちで良くしていくという住民主体の考え方が多くの受講生に浸透したことが確認でき、講座のねらいが達成できました。

#### ■引継ぎ事項

・講座終了後、受講生の活動(地域活動等)についての追跡調査と、活動のフォローアップについて、 泉区区民活動支援センターや泉区社会福祉協議会等と共同支援体制をつくることを検討する必要が あります。 わたしがつくる"くらしのプラスワン" 第8期西区地域づくり大学校

- 事業報告 2019 年度 -

西区役所区政推進課、認定 BDC 法人市民セクターよこはま・



#### 1)事業概要

#### ■目的とプログラムの検討

本事業は、現在の西区内で居場所づくりをこれから始めたい方を対象としたスタイルになって、今年で4年目となります。修了生のなかには、区内で定期的な居場所づくりを続けている方や、受講をきっかけにボランティアやNPO法人の活動に興味を持ち、現在も活躍している方がいます。受講生それぞれの強みを生かしながら、地域で活動する第一歩となることを目的に、プログラムの検討を重ねました。

#### ①Áテーマ:わたしがつくる"くらしのプラスワン"

受講生それぞれの得意なこと・好きなことをきっかけとした居場所づくりを考えていきます。導入と、修了式を含めて講座を6回実施しました。本講座のうち、1回は現地見学会を行いました。 ※子育て世代の参加を見込み見学会を除く5回を託児付きとしました。

#### ②「場づくり」について学ぶ

メイン講師として、「場づくり」の専門家である NPO 法人れんげ舎の長田英史氏に 2 回講義いただきました。最終講では、受講生の発表に対してコメントをいただきました。

#### ③チャレンジプランの実行

講座の第5講と第6講の間に、受講生のプランを実行する「チャレンジプランの実行期間」を設けました。プランを計画するだけではなく、実際に実施することで、活動の実現や継続につながりました。

#### ④修了生との交流

修了生(2012年~2018年度受講生)にも参加を呼びかけ、オブザーブ参加いただきました。 既に活動している修了生と情報交換する機会があることで、場づくりについて考える幅が広がり ました。

#### ■広報と受講生の決定

- ・広報よこはま、パンフレットの班回覧、西区地域施設等への配架のほか、ホームページ、Facebooでの周知を行いました。
- ・定員 15 名のところに 16 名の応募があり、抽選を実施しました。

#### ■実施主体・プログラムの開発

#### 西区役所区政推進課

認定 NPO 法人市民セクターよこはま(にしく市民活動支援センター 'にしとも広場'運営)

西区区政推進課と事業に関する意見交換、会場・備品利用、広報、事務スペース提供、運営などにおいて協力・連携を行いました。

#### 第 1 前 10 月 24 日(木) わたしがつくりたいくらしワクワクトーク

会場:wework みなとみらい 受講者数:13名

- ・オープニング(開講の挨拶:寺岡洋志氏(西区役所区長)、受講生自己紹介、ガイダンス)
- 講義:「自分らしく生きるための場づくり」

講師:長田英史氏(NPO 法人れんげ舎 代表理事)

・ワーク「こんな場はイヤだ」、受講者同士知り合うプログラムと題して、グループ内で自己紹介を行 いました。

講義:自分らしく生きるための場づくり



グループ内自己紹介



「場づくり」において大切なポイントを お話いただきました。場づくりは、単な る「場所」とは違い、自分の思いや人と のつながりによって生み出されるもので あり、活動の場を支える運営の場・作り 手の関係性こそが場に影響を与えること を学びました。

グループワークでは、「どんな場が好き? 反対にどんな場が苦手?そしてどんな場 をつくりたいか?」というテーマで話し 合い、自分の好き・苦手を言葉にしまし た。互いの共通点を見つけたり、人との 違いを意識することで、自分らしさを見 つめる機会となりました。

#### ■受講生の振り返り(トラベルノート)より

- 作り手が一番楽しむこと、よい準備が良い結果を生む。自分らしさについて、改めて考えたいと思っ
- 潜在的地域課題という自分の中にある気持ちが、地域のうねり、活動の基になるという考え方は目か らうろこだった。
- PDCA を適切に回すことが場づくりにも大切であることは仕事にも通じる。
- 利益の出し方、自分、仲間の生計の立て方等、具体的な運営方法が早く知りたいなと思った。
- 場というのは場所と違い、人と人のつながりによって生み出される、雰囲気や可能性である。場を開 催した後の振り返りをきちんとすることで、次回の場をよりよくすることができることを学んだ。

#### 第2講 11月7日(木)

#### くらしのプラスワン"を始めた先輩から学ぼう

会場:にしとも広場 受講者数:12名

地域活動の先輩の話を聞き、大切にしていることや活動のアイディアを膨らませました。 後半では、パネリストと一緒に、受講生自身がやりたいことについてグループワークを行いました。

- ・パネリスト: NPO 法人思いやりカンパニー(南区)、認定 NPO 法人こまちぶらす(戸塚区)、 高島中央公園愛護会(西区)、ちゃちゃっと薬膳茶(西区)
- グループワーク「実践のふり返りを通して自分らしさを再発見する」 講師: 吉原明香氏

NPO 法人思いやりカンパニー 津ノ井美晴氏

ちゃちゃっと薬膳茶 山本珠代氏



2019 年 10 月、南区中村町にて「思い やりハウス」をスタートしました。友人 と始めた子育てサークルから始まり、地 域ケアプラザを貸し切ってのハロウィン イベント、高齢者の買い物支援代行など 活動の発展についてお話いただきまし た。

昨年度西区地域づくり大学校を受講し、2 か月に1度、薬膳について学ぶ「ちゃちゃっと薬膳茶」をにしとも広場で定期開催。続けるうちに他施設や地域から、出張開催の声がかかるなど、「薬膳茶」をきっかけに輪が広がりました。

NPO 法人こまちぷらす 守家文子氏



戸塚区で「孤立しない子育てのまちづくり」を理念に活動する NPO 法人こまちぷらす運営の「こまちカフェ」の店長。参加者だった守家さんが、カフェの理念に共感し、店長になるまでの関わりについてお話いただきました。

高島中央公園愛護会 松本道雄氏



2015 年度に西区地域づくり大学校を受講。高島中央公園愛護会会長として活動しています。「みなとみらいでポニーと遊ぼう」実行委員会の企画を通じ、地域に住む子供たちだけでなく、地域の企業や関係者とのつながりの拡がりについてお話いただきました。

- ■受講生の振り返り(トラベルノート)より
- 活動の先輩が、構想を実現につなげていっている姿を生で体験でき、自分もこれから新しいことができるように感じて、とてもワクワクしてきた。
- ひとりでやっていると行き詰る。仲間を巻き込む、他の人を巻き込むみなさんが共通して話していらしたのが印象に残った。人を巻き込むことについて様々なヒントを得た。
- 自分の本当にやりたいことは偶然に他人によって引き出されることもあると感じた。

### 第3講 11月

各回2時間程度で、現地見学を実施しました。見学先では、活動についての話、質疑応答を行いました。

① 藤棚デパートメント (横浜市西区)

永田賢一郎さん

受講者数:9名 受講者数:3名

② NPO 法人大倉山ミエル(横浜市港北区)

鈴木智香子さん 津ノ井美晴さん

受講者数:5名

③ NPO 法人思いやりカンパニー(横浜市南区)

① 藤棚デパートメント





② NPO 法人大倉山ミエル





③ NPO 法人思いやりカンパニー



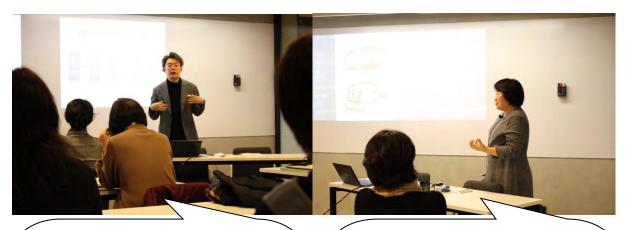
- ■受講生の振り返り(トラベルノート)より
  - 全て出来上がってから行動することも大事だが、進行形で行動することも大事。
  - チームワーク、人とのつながりが大切。
  - ・自分の課題と地域の課題―双方がうまくかみ合うのはどんな活動かと場づくりを成功している方は みなさん、熟考されている。
  - 活動資金について 仕事の自分の軸をもったうえで、地域の活動もしている。お客様、地域の方々に好かれ、また来たい、と思ってもらえることで場が継続されていく

#### 第4講 9月21日(土)

#### プラスワンの"場"をはじめるための土台づくり

場所:wework みなとみらい 受講者数:12名

- ・講義「フラットな組織運営/情報発信の仕方」 講師:長田英史氏
- •講義「チャレンジプラン作成のコツ」講師:吉原明香氏



「フラットな組織運営」・「情報発信の 仕方(仲間をみつけるニュースレターづ くり)」について講義をいただきました。 本音で話し、仲間同士で合意形成ができ ているか、活動の肝である「会議」の運 営について学びました。また単発の場づ くりの前段階として「ニュースレター」 の発行の考え方について、学びました。 第 5 講でのチャレンジプランの作成に向け、プランの作成のコツを学びました。チャレンジプランの対象、場所、方法、誰と一緒に、なぜやりたいのか、そしてどのように情報発信し、コストを考えるかなど、様々な実例を通しアイディアを膨らませました。

#### ■受講生の振り返り(トラベルノート)より

- ・心にもないことを言わない会議、本音を言う時は伝え方の配慮が必要。会議の場を鍛えていく。
- ・ニュースレターは本気で書く。万人受けを狙うは NG だと思った。
- 判断の材料(情報)を相手に伝える。少しはじめてみて、考えながら計画を進めていきたい。
- ・組織の会議の進め方、あるあるばかりだった。ぜひ実践してみたい。
- ・ニュースレター等の発行を通じて、これから活動する場合も、「火のないところに煙をたてていく」の もありと知り、勇気がわいた。

#### 第5 護 12月12日(木)

#### プランの実行に向けて準備しよう

会場:にしとも広場 受講者数:9名

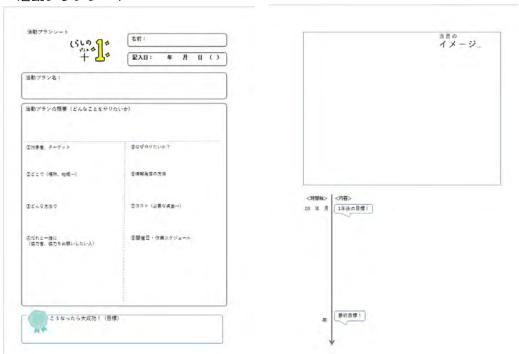
- グループワーク:「活動のプラン作り&活動を知ってもらうためのニュースレターづくり」
- 個別相談会

個別相談では、受講生一人ひとりのチャレンジプランについて、一人あたり 20 分、事務局が話を聞きました。また、平行してグループワークを行い、プランについてお互いにアドバイスを行いました。

• 全体共有



#### ▼活動プランシート



#### ■受講生の振り返り(トラベルノート)より

- ・イベントのアイディアはたくさんでた。対象者を決められれば、場所や内容、日時を決められそうだと思った。思いついたアイディアと、いただいた言葉を無駄にしないよう、今日の講座のフィードバックをしたい。
- 自分が本当は何を大事に思っていて、本当は誰を思っているの?すごくシンプルに、原点に戻れた。 この感覚を忘れないようにする。
- 発信するとアイディアが返ってくる!企画はつらいが実行日が楽しみになってきました。

## 12月13日~2月5日

#### チャレンジプランの実行期間

受講生のチャレンジプラン計画をもとに、企画から広報、当日の実施まで、受講生が行いました。



世界の朝ごはん(カツオだし)



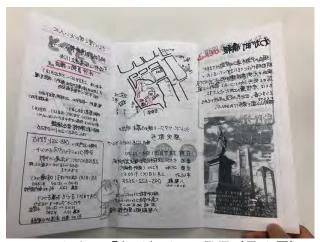
着物でおもてなし(着付け体験)



癒しのコンサート&ハンドマッサージ



大人のあそび場準備委員会(セミナー開催)



ニュースレター「とべとべ」の発行(月1回)

#### プランの振り返り&これからのプラスワン

会場:にしとも広場 受講者数:10名

- ・チャレンジプラン実践報告会
  - 一人ひとり自分の取り組んだチャレンジプランについて発表しました。発表のなかで課題に感じていることや、不安に思うことを講師の長田氏、吉原よりコメント・アドバイスしました。
- ・講義「受講生へのメッセージ:これからの活動に向けて」 講師:長田英史氏
- 修了式





発表の様子

修了証の授与

#### ■アンケートより

- 実際やってみることでわかることが大きいと実感した。
- ぼんやりとした「やりたいこと」が現実になる驚きを体験 することができ、やりごたえがある内容だった。
- 自分の作りたい場について、グループ内で発表することに なったおかげで、考えを頭から一度紙に起こしてまとめること の訓練になった。



懇親会の様子

#### 4) 「トラベルノート」による振り返り

学習の学びを記録する「トラベルノート」を配布し、毎回の講義終了時に、印象に残ったことや心に 残ったことを書き入れました。受講生の学びを把握し、個別に寄り添った伴走を行うために、事務局も 都度内容を確認しました。

#### 5) 第1期~8期修了生対象 2020年3月7日(土)「修了生の会」について

- •3月7日(土) 15:00~17:00 に「修了生の会」(終了後、懇親会)を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により、にしく市民活動支援センターを臨時休館することとなり、実施に至りませんでした。
- 修了生の会の代替として、講師を依頼していた NPO 法人れんげ舎長田氏の書籍を申込者に配布、今の思いや課題に感じていることをとりまとめ、先生からいただいたメッセージと一緒に共有しました。

#### 6) 事務局の振り返り

- ・今回のテーマ「くらしのプラスワン」に共感し、対象として想定していた「自分らしさを生かしてな にか新しく始めたい」と考えている方の参加につながりました。
- ・第3講の活動見学では、見学先の事情等やむを得ない理由から見学先が5か所から3か所となりました。見学先の選定や訪問方法についての検討が必要です。
- ・第5講の個別相談は、チャレンジプランのフォローとして実施しましたが、一人ひとりの希望や不安 な点について時間をかけて丁寧にヒアリングした結果、活動を後押しするための良い機会となりました。
- ・第5講と第6講の間の「チャレンジプランの実践」は、約半数の受講生が実際に実施しました。講座終了後も、各活動についての状況を把握しフォローしていきます。
- ・募集形式は一般公募で皆個人参加でしたが、講座を通じて「なにか地域で始めたい」という思いを持った仲間づくりができました。講座終了後も、受講年度に限らないつながりづくりが広がるよう、引き続き「修了生の会」の企画と実施を行っていきます。

## 認定特定非営利活動法人市民セクターよこはま

## 2019年度

## 決 算 書

- 1. 活動計算書
- 2. 貸借対照表
- 3. 財務諸表の注記
- 4. 財産目録

(参考)予算·決算比較表

### 法人名: 認定特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 活動計算書

2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日まで

A   B   金 額     I 経常収益   253,000   準会員受取会費   253,000   283,000     準会員受取会費   30,000   283,000   283,000     全	) <u>,741</u>
1. 受取会費 正会員受取会費 準会員受取会費 費助会員受取会費 の 30,000 283,000 2. 受取寄付金 受取寄付金 の 61,111 61,111 3. 受取助成金 助成金収益 自主事業収益 自主事業収益 受託事業収益 受取利息 雑収益 受取利息 雑収益 経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 資与 給料手当 有人 を表表の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	) <b>,74</b> 1
正会員受取会費 準会員受取会費	) <b>,</b> 741
準会員受取会費       0         費助会員受取会費       30,000         2. 受取寄付金       61,111         受取助成金       0         助成金収益       0         自主事業収益       21,083,330         受託事業収益       72,112,855         受取利息       1,220         雑収益       298,225         経常収益計       1         II 経常費用       40,582,205         1. 事業費       40,582,205         (1) 人件費       40,582,205         資与       9,185,275	) <b>,74</b> 1
費助会員受取会費30,000283,0002. 受取寄付金 受取寄付金 受取助成金 助成金収益 自主事業収益 受託事業収益 受取利息 雑収益 経常収益計004. 事業収益 受取利息 雑収益 経常収益計 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 賞与21,083,330 72,112,855 93,196,18593,196,1855. その他収益 298,225 9,185,275299,44593,83	) <u>,741</u>
2. 受取寄付金 受取寄付金 受取事付金       61,111       61,111         3. 受取助成金 助成金収益 自主事業収益 受託事業収益 受託事業収益 受取利息 雑収益 経常収益計       21,083,330 72,112,855       93,196,185         5. その他収益 受取利息 雑収益 経常収益計       1,220 298,225       299,445         経常収益計 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 資与       40,582,205 9,185,275       93,83	) <b>,</b> 741
受取寄付金 3. 受取助成金 助成金収益 4. 事業収益 自主事業収益 受託事業収益 受取利息 報収益 経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 自持 会別の表 会別の表 会別の表 会別の表 会別の表 会別の表 会別の表 会別の表	) <b>,</b> 741
3. 受取助成金 助成金収益 自主事業収益 自主事業収益 受託事業収益 受取利息 業収益 経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 給料手当 資与	) <u>,741</u>
助成金収益       0       0         4. 事業収益       21,083,330       93,196,185         受託事業収益       72,112,855       93,196,185         5. その他収益       1,220       298,225       299,445         経常収益計       298,225       299,445         経常費用       1. 事業費       40,582,205       40,582,205       9,185,275	) <b>,74</b> 1
4. 事業収益 自主事業収益 受託事業収益 受配利息 受取利息 雑収益 経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 資与	) <b>,</b> 741
自主事業収益 受託事業収益 受託事業収益 うた。その他収益 受取利息 雑収益 経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 会科手当 資与	) <b>,</b> 741
自主事業収益 受託事業収益 受託事業収益 うた。その他収益 受取利息 雑収益 経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 会科手当 資与	),741
受託事業収益 72,112,855 93,196,185 5. その他収益 1,220 298,225 299,445 経常収益計 93,83 11 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 40,582,205 賞与 9,185,275	),741
5. その他収益 受取利息 雑収益 経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 資与  1,220 298,225 299,445  93,83	) <u>,741</u>
受取利息 雑収益 <b>経常収益計</b> <b>II 経常費用</b> 1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 自身	),741
雑収益     298,225     299,445       経常収益計     93,83       II 経常費用     (1) 人件費       給料手当     40,582,205       賞与     9,185,275	),741
経常収益計 II 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 賞与 40,582,205 り,185,275	),741
II 経常費用 1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 第5年 40,582,205 第5年 9,185,275	9,741
1. 事業費       (1) 人件費         給料手当       40,582,205         賞与       9,185,275	
(1) 人件費       40,582,205          當与       9,185,275	
給料手当40,582,205賞与9,185,275	
賞与 9,185,275	
法定福利費 6.225.485 6.225.485 d	
通勤手当 2,461,228	
福利厚生費 496,268	
人件費計 58,950,461	
(2) その他経費	
売上原価 0	
講師謝礼金 5,113,357	
業務委託費(調査等) 498,576	
業務委託費(顧問報酬) 939,500	
ボランティア謝金 99,114	
旅費交通費 946,730	
通信•運搬費 2,846,603	
印刷•製本費 3,427,878	
消耗品費 964,775	
事務所家賃 3,089,200	
水道光熱費 99,840	
支払手数料 698,583	
保険料 26,880	
会場費 524,314	
イベント費 400,320	
研究•研修費等 2,359,942	
資料代 17,769	
修繕費 128,197	
警備料 674,928	
広告宣伝費 1,293,944	
会議費 160,391	
新聞図書費 1,189,656	
支払助成金 1,103,030	
租税公課 5,437,365	
交際費 402,751	
諸会費 115,544	
維費 747,620	

減価償却費 支払利息 貸倒繰入額 その他経費計 事業費計	522,826 31,131 76,500 <b>33,175,212</b>	92,125,673	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	142,458		
法定福利費	21,335		
通勤手当	128,645		
人件費計	292,438		
(2)その他経費			
業務委託費(報酬)	0		
旅費交通費	3,408		
通信·運搬費 印刷·製本費	6,856		
消耗品費	1,662 2,142		
事務所家賃	128,716		
水道光熱費	4,160		
リース料	129		
保険料	0		
支払手数料	16,152		
会場費・イベント費	517		
寄付金	4,148		
減価償却費	10,991		
諸会費	4,606		
雑費	5,940		
その他経費計 管理費計	189,427	401 065	
音座質問   経常費用計		481,865	92,607,538
当期経常増減額			1,232,203
Ⅲ 経常外収益			1,202,200
貸倒引当金戻入		63,700	
経常外収益計		ŕ	63,700
IV 経常外費用			
固定資産除却損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			1,295,903
法人税・住民税および事業税			74,500
当期正味財産増減額			1,221,403
前期繰越正味財産額 次期繰越正味財産額			37,621,703
<u> </u>			38,843,106

#### 法人名: 認定特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 貸借対照表

2020 年 3月 31 日現在

科目		 金  額	(単位:円)
I 資産の部		<u> 과</u> 도 1년동	
1. 流動資産			
現金預金	33,117,046		
未収金	11,820,569		
貸倒引当金	$\triangle$ 76,500		
棚卸資産	443,608		
前払費用	223,044		
流動資産合計	220,011	45,527,767	
2. 固定資産		10,021,101	
(1)有形固定資産			
工具器具備品	429,038		
有形固定資産計	429,038		
(2)投資その他の資産	120,000		
敷金	902,497		
差入保証金	258,096		
長期前払費用	624,256		
投資その他の資産計	1,784,849		
固定資産合計		2,213,887	
資産合計		, ,	47,741,654
Ⅱ 負債の部			·
1. 流動負債			
未払金	2,620,298		
未払費用	2,878,607		
預り金	188,643		
前受金	0		
未払法人税等	74,500		
未払消費税等	3,136,500		
流動負債合計		8,898,548	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			8,898,548
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		37,621,703	P
当期正味財産増減額		1,221,403	£ .
正味財産合計			38,843,106
負債及び正味財産合計			47,741,654

### 財務諸表の注記

#### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は最終仕入原価法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法 有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
- (3) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

#### 2. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

						( )
科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	1,577,124			1,577,124	△ 1,148,086	429,038
合 計	1,577,124	0	0	1,577,124	△ 1,148,086	429,038

### 法人名: 認定特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

<u>財産目録</u> 2020年 3月 31 <sup>□現在</sup>

科目		金 額	
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
にし区市民活動支援センター小口現金	37,976		
横浜市市民活動支援センター窓口現金	30,000		
その他小口現金	38,268		
横浜銀行普通預金(共通通帳)	400,726		
横浜銀行普通預金(支援センター通帳)	7,470,349		
横浜銀行普通預金(第一通帳)	7,497,791		
横浜銀行普通預金(にし区支援C通帳)	5,718,413		
横浜銀行普通預金(新規事業用通帳)	1,000		
ゆうちょ銀行(会費等振替口座)	1,920,842		
横浜銀行定期預金	10,001,681		
現金預金計	33,117,046		
	33,117,040		
未収入金	0.000.000		
NTTドコーモまちかどケアデモ版アプリ開発・活用事業負担金	2,200,000		
横浜市認知症サポーターキャラバン事業事務局委託費用	1,463,000		
横浜市社協 横浜あゆみ荘宿泊モニタリング実施料	170,500		
横浜市市民協働推進センター開設準備業務委託費用	990,000		
横浜市 瀬谷第二保育園第三者評価業務委託費用	594,000		
横浜市泉区まちづくりみらい塾事業負担金	1,314,790		
横浜市都市整備局 まち普請事業運営費用	979,000		
横浜市小規模多機能居宅介護事業者連絡会 事務局業務一部実施料	385,000		
横浜市泉区自分史取材製作費	493,350		
横浜市 認知症カフェ立上げ研修委託費用	572,000		
横浜市神奈川区地域づくり大学校横浜市負担金	1,253,582		
地域密着型通所介護事業所連絡会 事務局業務一部実施料	275,000		
神奈川県 企業NPO大学パートナーシップ支援事業スタディツアー業務委託費用	370,414		
横浜市 にし区市民活動支援センター機能強化事業委託費用	440,000		
横浜市 南区「いっぷく処」支援方策業務委託費用	124,025		
その他9件	195,908		
未収入金計	11,820,569		
貸倒引当金	-76,500		
商品			
書籍在庫	43,100		
貯蔵品	,		
災害時用備蓄品	400,508		
前払費用	100,000		
リストインターナショナルリアルティ 4月分家賃	219,054		
施設賠償保険料	3,990		
前払費用計	223,044		
流動資産合計	225,044	45,527,767	
		40,021,101	
<ol> <li>固定資産</li> <li>工具器具備品</li> </ol>			
	400,000		
電話設備2件	429,038		
敷金	000 405		
リストインターナショナルリアルティ 敷金	902,497		
差入保証金 NGS横浜馬車道事務所 保証金	258,096		

長期前払費用		1	1
リストインターナショナルリアルティ 敷金償却分	202,601		
リストインターナショナルリアルティ 礼金	202,601		
エルス・サポート 保証委託料	219,054		
長期前払費用計	624,256	N	
固定資産合計	,	2,213,887	
資産合計		, ,	47,741,654
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
関内イノベーションイニシアティフ、HP制作初期立上げ費用	990,000		
社会保険料3月分、労働保険料R元年度分精算不足金	867,316		
第三者評価調査報酬、交通費	215,608		
NTT通信料、日本郵便郵送料等	188,016		
八雲堂、富士ゼロックス印刷機費用	63,640		
アスクル、大塚商会、ユニマット等消耗品	57,199		
警備料3月分	56,760		
謝金、顧問料3月分	126,157		
ベイバイク運営事務所3月利用料	2,200		
健康診断料3月分	43,909		
NGS事務所 水道光熱費3月分	9,493		
未払金計	2,620,298		
未払費用			
3月分給与	2,878,607		
預り金			
3月分給与預り源泉所得税	49,750		
3月分給与預り雇用保険料	7,893		
3月分給与預り住民税	131,000	,	
預り金計	188,643	,	
未払法人税等	74,500		
未払消費税等	3,136,500		
流動負債合計		8,898,548	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	ļ
負債合計			8,898,548
正味財産			38,843,106

### 法人名: 認定特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## <u>2019予算·決算 比較表</u>

A)  -			(単位:円)
科目	2019予算	2019決算	差異(予算-決算)
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	272,000	253,000	△ 19,000
準会員受取会費	9,000	0	△ 9,000
賛助会員受取会費	35,000	30,000	△ 5,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	30,000	61,111	31,111
3. 受取助成金	4 0=0 000		4 4 0 = 0 0 0 0
助成金収益	1,950,000	0	△ 1,950,000
4. 事業収益	00.00=.000	04 000 000	4 0 004 050
自主事業収益	23,905,000	21,083,330	
受託事業収益	69,572,000	72,112,855	2,540,855
5. その他収益	1 000	1 000	000
受取利息	1,000	1,220	220
雑収益	330,000	298,225	△ 31,775
経常収益計	96,104,000	93,839,741	△ 2,264,259
II 経常費用			
(1)人件費 給料手当(賞与・法定福利費・通勤手当含む)	60,306,000	50 746 621	↑ 1 EEO 260
福利厚生費	800,000	58,746,631 496,268	$\triangle$ 1,559,369 $\triangle$ 303,732
人件費計	61,106,000	59,242,899	△ 1,863,101
(2)その他経費	01,100,000	59,242,699	△ 1,603,101
講師謝礼金	5,500,000	5,113,357	△ 386,643
業務委託費(報酬)	750,000	498,576	$\triangle$ 350,043 $\triangle$ 251,424
業務委託費(顧問料)	938,000	939,500	1,500
ボランティア謝金	175,000	99,114	
旅費交通費	1,061,000	950,138	
通信•運搬費	2,020,000	2,853,459	833,459
印刷·製本費	3,535,000	3,429,540	·
消耗品費•備品費	1,212,000	966,917	△ 245,083
事務所家賃	4,063,000	3,217,916	△ 845,084
水道光熱費	104,000	104,000	0
支払手数料	313,000	714,735	401,735
リース料	505,000	341,107	△ 163,893
保険料	33,000	26,880	△ 6,120
会場費	625,000	524,314	△ 100,686
イベント費	625,000	400,837	
会議費	0	160,391	
研究•研修費	2,500,000	2,359,942	△ 140,058
新聞図書費	1,200,000	1,189,656	△ 10,344
資料代	50,000	17,769	
修繕費	50,000	128,197	78,197
警備料	669,000	674,928	5,928
租税公課(消費税等)	5,200,000	5,437,365	237,365
寄付金	20,000	4,148	
広告宣伝費	290,000	1,293,944	

減価償却費	208,000	533,817	325,817
支払利息	42,000	•	$\triangle 10,869$
諸会費•雜費他	625,000	•	651,461
	025,000		,
貸倒繰入額	0	76,500	76,500
その他経費計	32,313,000	33,364,639	1,051,639
経常費用 計	93,419,000	92,607,538	△ 811,462
当期経常増減額	2,685,000	1,232,203	$\triangle 1,452,797$
Ⅲ 経常外収益			
貸倒引当金戻入	0	63,700	63,700
経常外収益計	0	63,700	63,700
IV 経常外費用			
繰延資産償却	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	2,685,000	1,295,903	△ 1,389,097
法人税・住民税および事業税	200,000	74,500	△ 125,500
当期正味財産増減額	2,485,000	1,221,403	△ 1,263,597
前期繰越正味財産額	37,621,703	37,621,703	0
次期繰越正味財産額	40,106,703	38,843,106	△ 1,263,597